

# 川西市における行政評価を活用した取り組み

川西市役所総合政策部

本荘重弘

# 本市の概況



位置: 兵庫県南東部

大阪駅まで約16km

神戸駅まで約27km

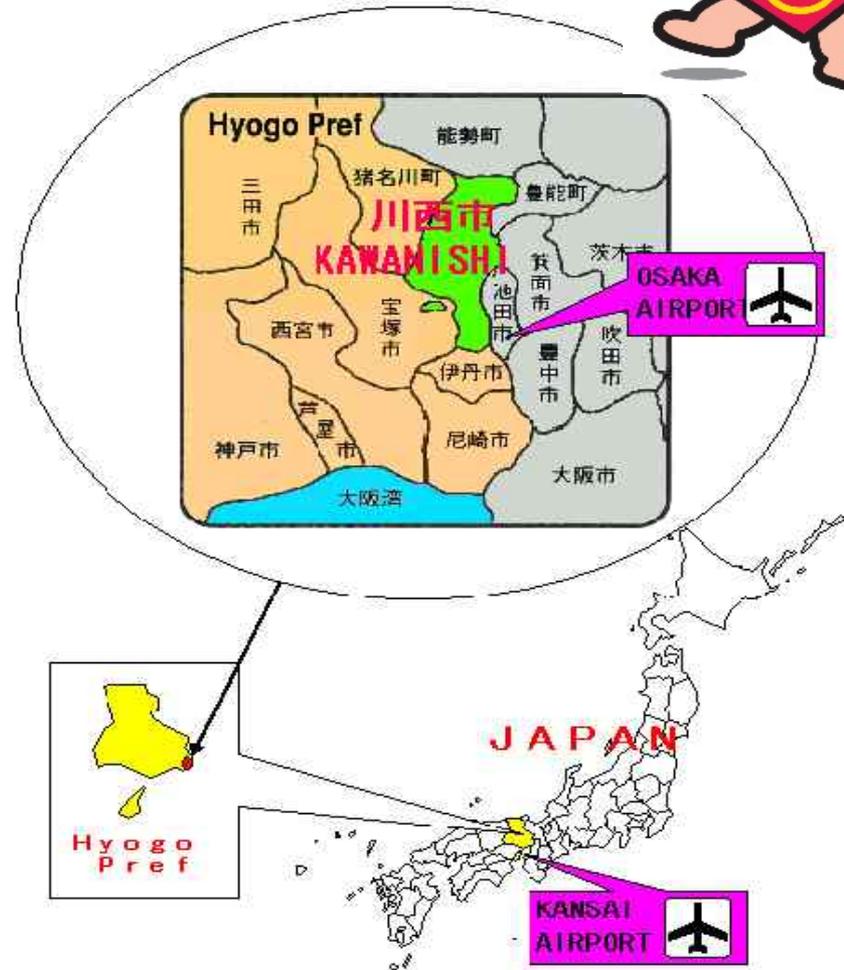
大阪のベッドタウンとして発展

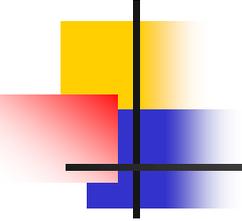
人口・世帯数: 160,733 人

68,305世帯

高齢化率 : 28.2%

(H26年3月末)





## 本市の行政評価の特徴

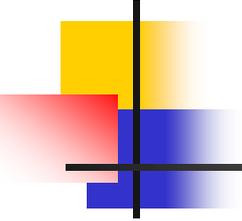
---

- ◆ 事業・細事業をキーに、計画・予算・定数がリンク

**施策体系**: 生活の視点—政策—施策—事業—細事業

**予 算**:

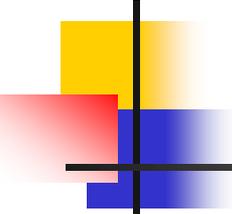
款—項—目—事業—細事業



## 本市の行政評価の特徴

---

- ◆ 施策・細事業の単位で評価を実施



## 本市の行政評価の特徴

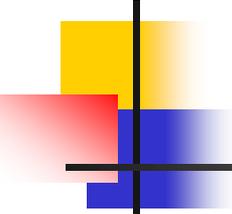
---

- ◆ 評価を単独で実施するのではなく、実施計画・予算編成・定数査定の過程で実施

実施計画：施策・主要細事業単位で評価

予算編成：細事業単位で評価

定数査定：細事業単位で捕捉



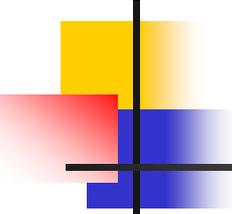
## 経緯

---

- ・平成4・5年度に地方自治研究資料センターと共同研究

### <目的>

新総合計画の作成に伴い、その実効性の確保を目的として計画の執行状況を把握し、管理評価を行うためのシステム化について、具体的な施策・事業に即した開発研究を行う。



# 自治体総合計画とは

---

## 1. まちづくりの指針

市民・事業者・行政など様々な主体が、協働のまちづくりを進めていくために共有すべき指針

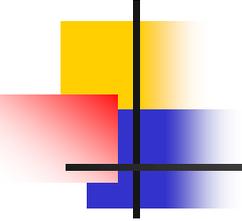
## 2. 行財政運営の指針

総合的で計画的な行財政運営を行うための指針

## 3. 他の行政機関等との相互調整の指針

国や県等が策定する計画などとの調整を図る指針

**わが国のほとんどすべての市町村で策定されている**



## 問題意識

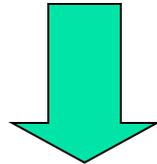
---

- ・総合計画を管理評価をする術がない
- ・総合計画が形骸化している

一体、何のための、誰のための総合計画なのか

# 第3次総合計画前期基本計画での取り組み (平成5年度から)

- ・平成5年度から9年度の前期基本計画スタートに合わせ、  
事業評価システムを試行



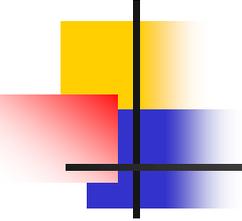
阪神・淡路大震災の影響等により頓挫

<課題>

指標の設定

事業別予算

情報処理機器等の不足



## 第3次総合計画後期基本計画での取り組み (平成9年度から)

---

### 平成9・10年度 ～細事業を試行～

・平成9年度は、翌年度からスタートする後期基本計画の策定と並行して事業評価システムの準備を進めた。

財政課においても、事業別予算導入に向けて準備を進めた。

・平成10年度は本格実施を視野に入れ試行。財政課では事業別予算を試行。庁内LAN「川西ハイパーネット」稼働。

#### <課題>

アウトカム指標とアウトプット指標の混在

細事業単位ではアウトカム指標の測定が困難

# 第3次総合計画後期基本計画での取り組み (平成9年度から)

平成11年度

～小項目・細事業評価を試行～

- ・事業別予算が本格実施されたことから、事業評価もリニューアル

## ★ 見直しの視点

- ・政策方針を施策の体系の小項目ごとに定め、それに基づく事業展開を図る。
- ・事業別予算との整合を図るとともに、定数など関連情報の共有・活用を進める。

## ★ 変更点

- ・政策アセスメント:小項目単位で基本方針作成。アウトカム指標設定
- ・事業アセスメント:基本方針に基づき、事業・細事業精査。インプット・アウトプット指標設定

# 第3次総合計画後期基本計画での取り組み (平成9年度から)

## 平成12年度 ～決算成果報告書・システム化検討～

- ・地方自治法第233条第5項の規定に基づく、主要な施策を説明する資料として「**こころ街レポート**」作成

### ★ 施策体系別所属別総コスト一覧表

総合計画の施策を縦軸、所属(部)を横軸に、コスト(事業費・人件費・公債費の合計)をマトリクス表示

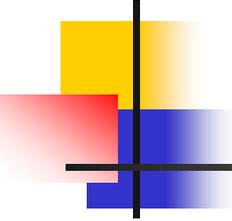
### ★ 行政サービス成果表

< 施策別評価指標一覧表 >

施策ごとに評価指標(アウトカム指標)を表示

< 施策別・事業別行政サービス成果表 >

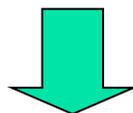
施策及び細事業単位で、実施内容、サービス供給量(アウトプット)指標を表示



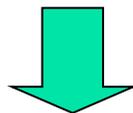
# 新たな展開

---

平成18年10月市長交代



より「経営」を意識した行財政運営



目標設定をより明確にした基本計画

経営品質向上プログラムの導入

# 事業評価の視点

## 妥当性

- ・施策目標達成のために必要な事業か。
- ・市民のニーズが高い事業であるか。
- ・社会情勢や市民ニーズの変化に適応しているか。
- ・緊急性が高い事業か。
- ・継続して実施する必要性が高いか。
- ・実施することが法律で義務付けされているか。
- ・市が実施すべき事業か。
- ・国・県の事業と重複していないか。
- ・民間で同様の事業を実施していないか。
- ・サービスの対象や水準は適正か。

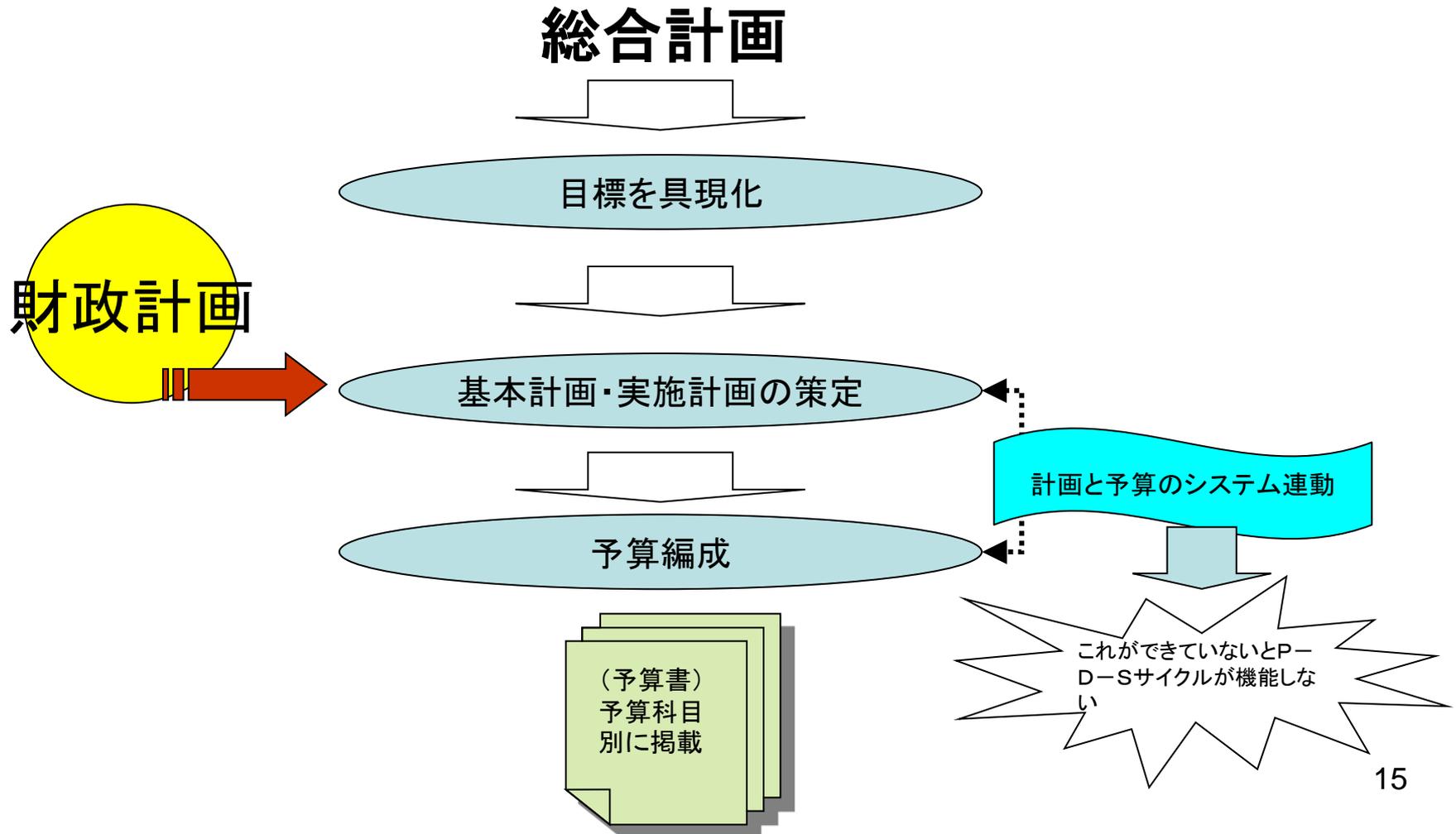
## 効率性

- ・実施方法は最適か。
- ・単位あたりコストや人件費が削減できたか。
- ・契約内容などの見直しによりコスト削減できたか。
- ・利用者負担の割合は適正か。
- ・事務改善により、効率化が図れたか。

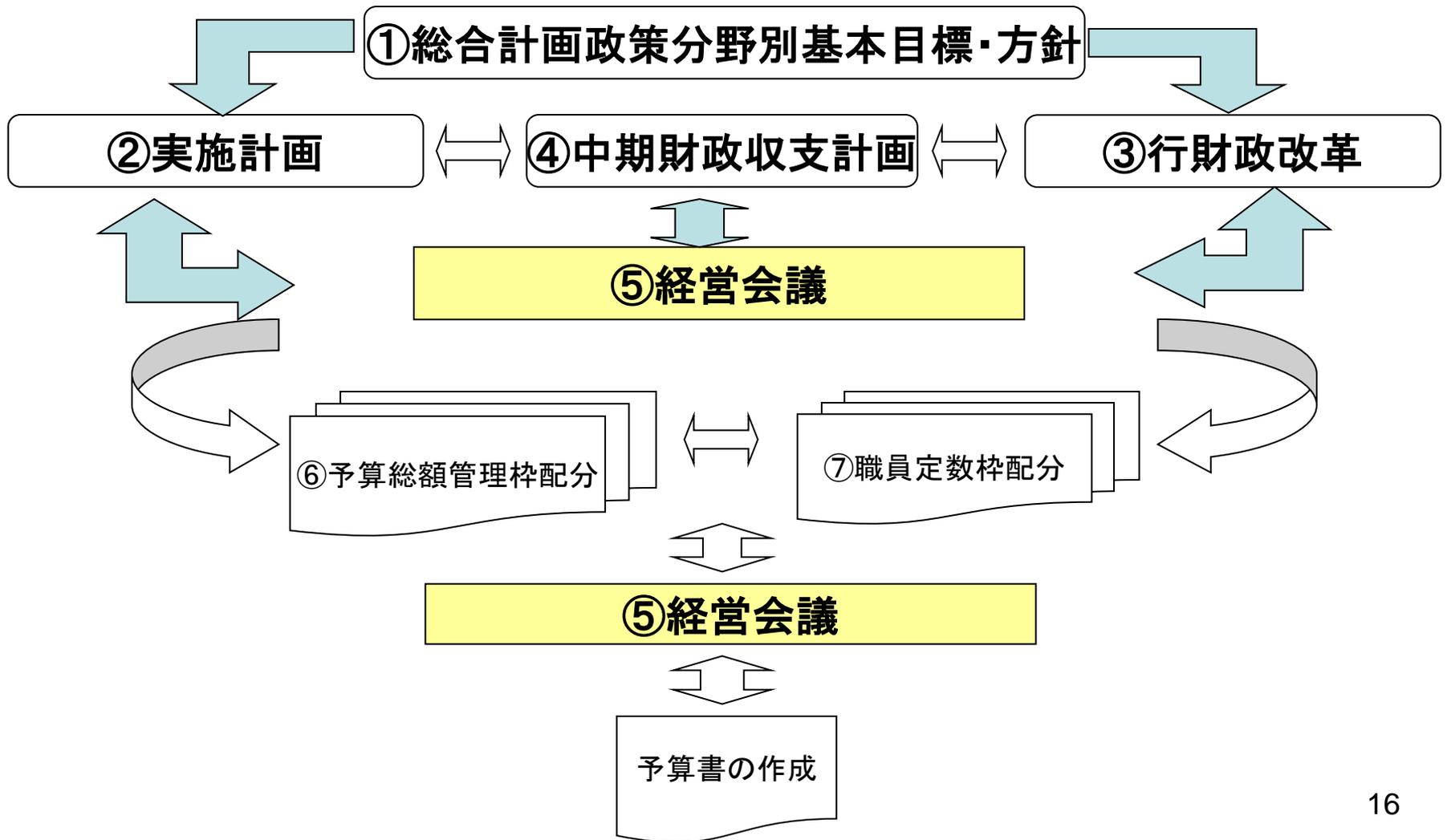
## 有効性

- ・得ようとしていた効果が実際に得られたか。
- ・事業の効果を客観的に把握できているか。
- ・目的が達成できるような事業内容となっているか。
- ・事業内容が、施策目標達成に貢献しているか。
- ・サービス向上の観点から、実施方法は最適か。
- ・実施方法を工夫し、市民満足度を高めているか。

# 予算と総合計画の連動



# 総合計画に基づいた予算編成



# PDCAサイクル

## 改善(ACTION)

改善点の提案・検討

## 計画(PLAN)

- ・総合計画
- ・その他計画

笑顔・ときめき  
川西プラン

～元気でらるまいのある オンリーワンのまちづくり～

第4次川西市総合計画 後期基本計画  
平成20～24年度(2008～2012)

川西市

## 評価(CHECK)

決算成果報告書

地方自治法 233条5項

## 実施(DO)

事業  
(予算の執行)

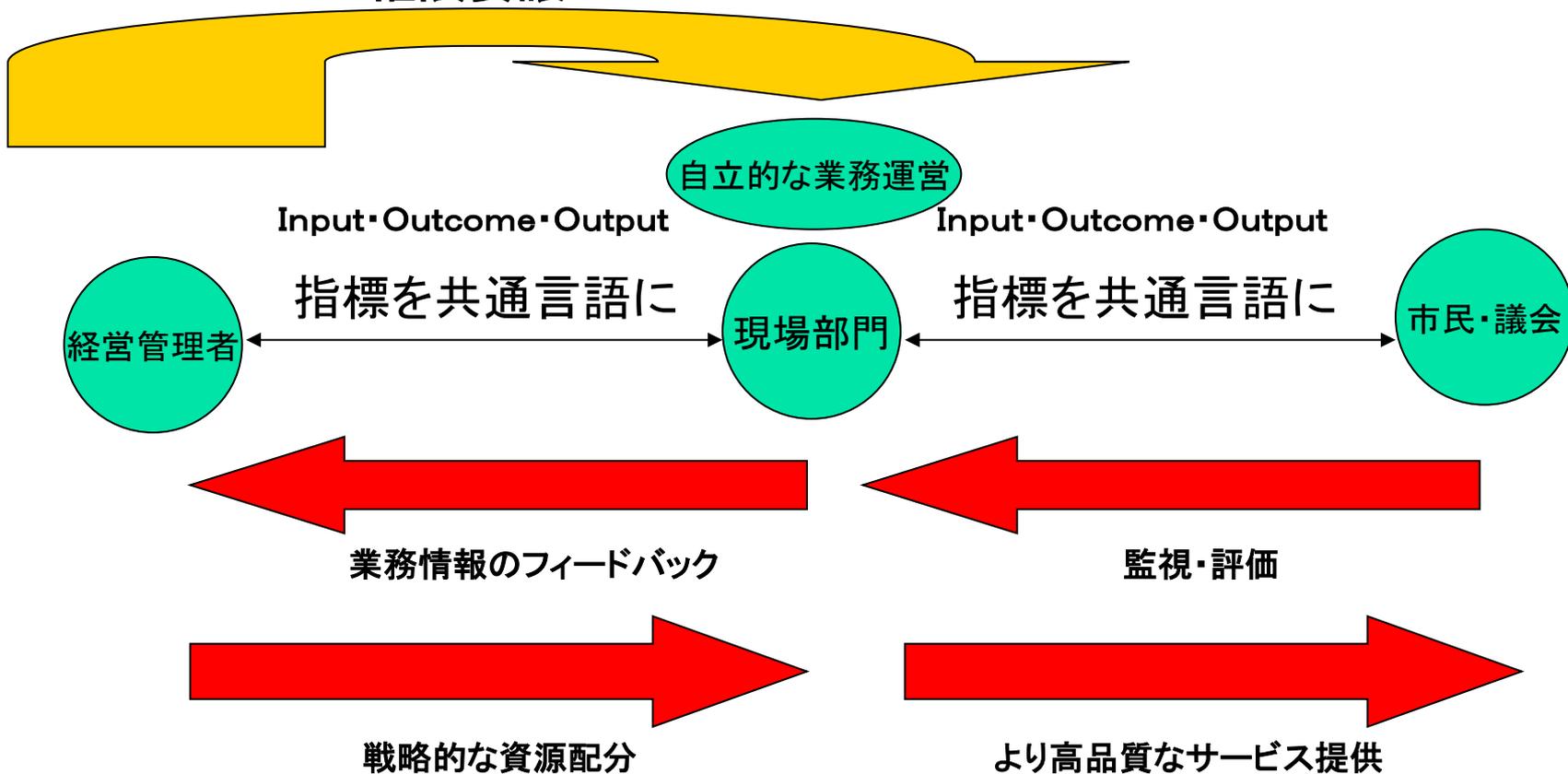
平成21年度決算成果報告書

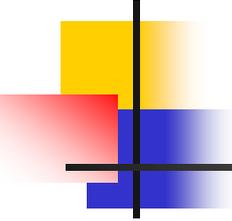
行政サービス部



# 行政評価の本質

権限委譲

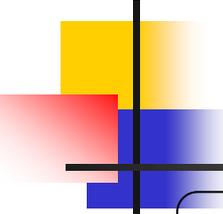




# 改めて反省

---

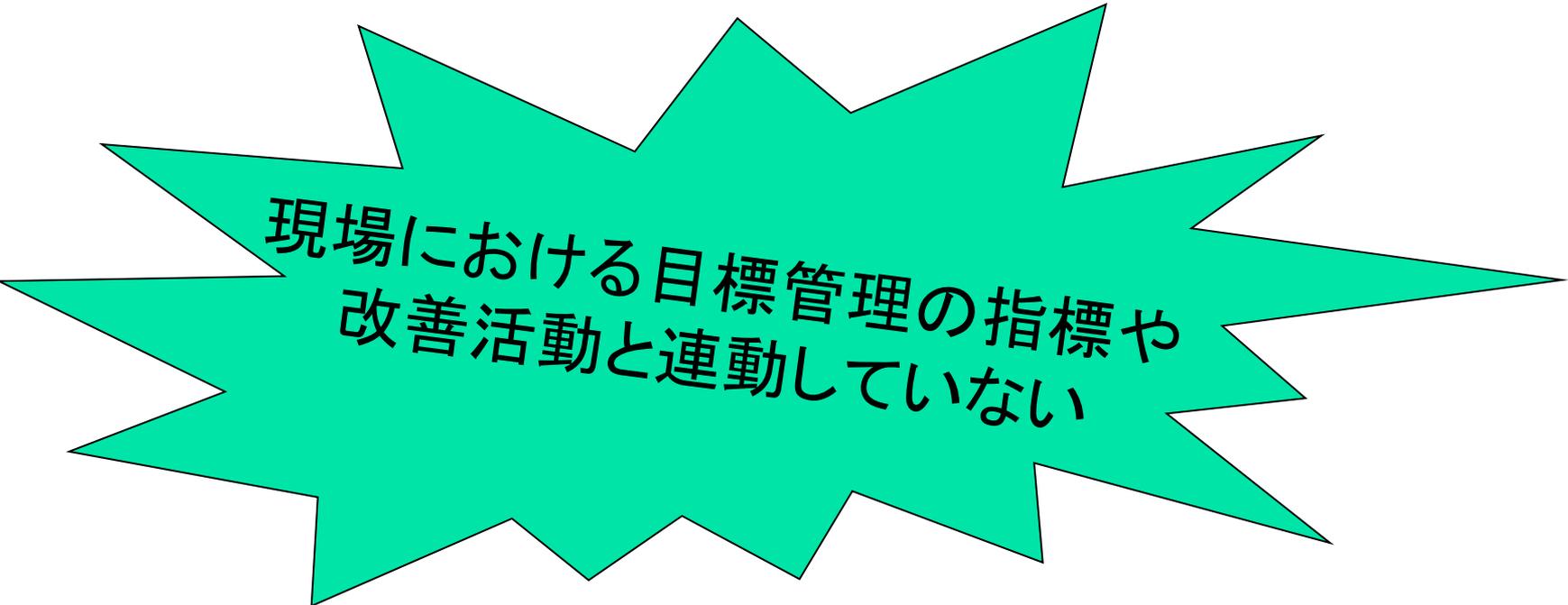
- 総合計画に評価の視点を入れ、計画の各項目に数値目標や現状値が掲げられている
- 現場の各部門が、自らの仕事や予算の使い方を点検している
- 評価結果は住民に公表されている



# 本市の現状

総合計画を基軸とした行財政運営は定着した

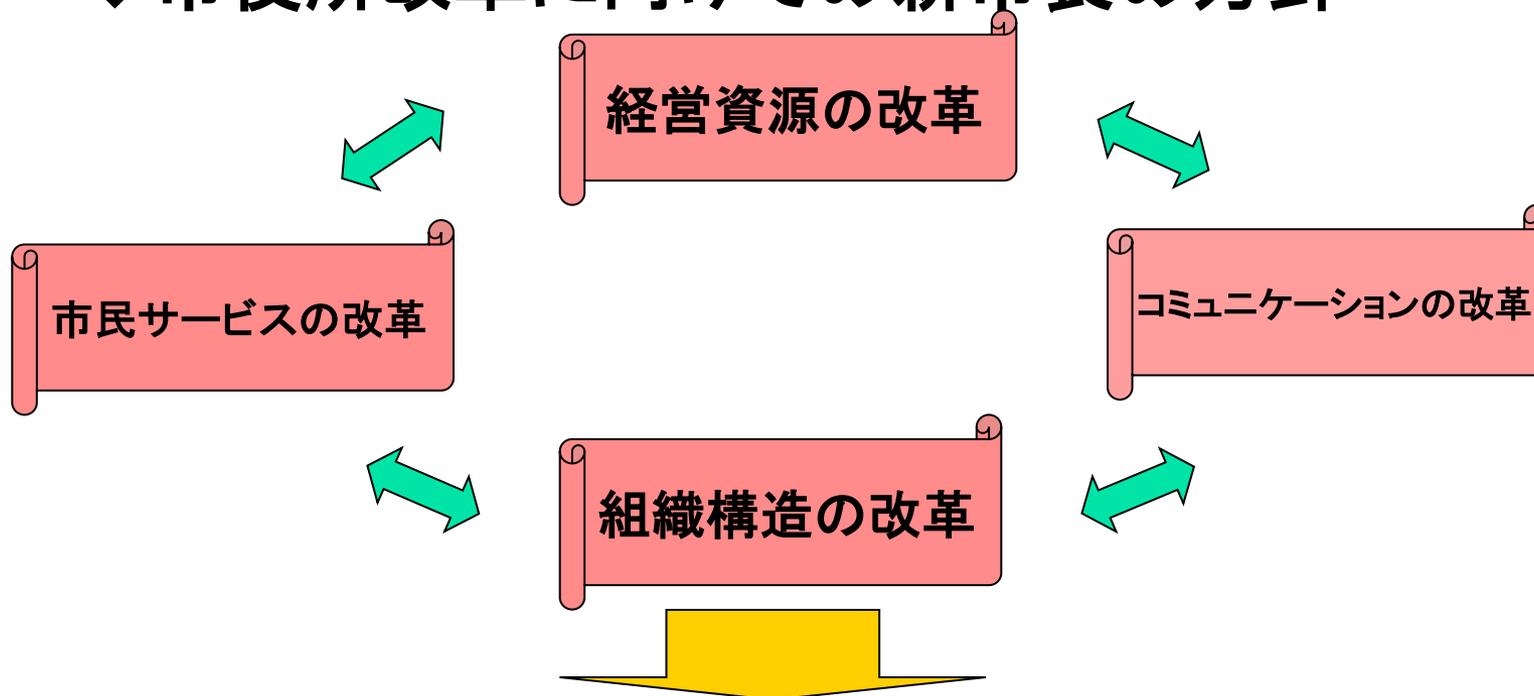
しかしながら



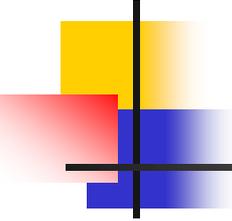
現場における目標管理の指標や  
改善活動と連動していない

# 経営品質向上プログラムの導入

## ◆市役所改革に向けての新市長の方針



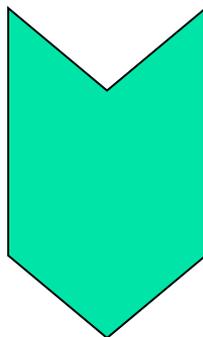
市役所を**市民の役に立つ所**へ



# 経営品質向上プログラムの導入



職員の思考・行動様式の  
さらなる変革が必要



卓越した経営を可能にする  
具体的な仕組みの導入

# 発想の転換

「経」→建物の設計図に基づき、敷地の地面  
に張った糸＝構想

「営」→建設すること＝管理

## これまでの行政

- ・無謬主義
- ・前例踏襲
- ・規定の法律どおり
- ・官主導

「営」あって「経」なし

## これからの行政

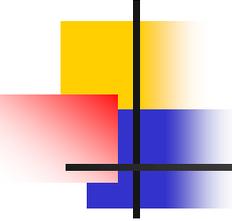
- ・柔軟志向
- ・未来志向
- ・自治立法権
- ・官・民協働

「経」と「営」のバランス

行政管理

行政経営

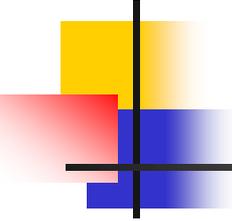
地域経営



# 経営品質向上プログラムの導入

## ■ 日本経営品質賞

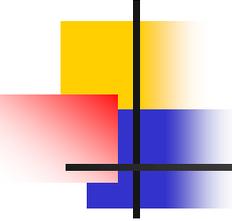
企業をお客様の視点から運営し、かつ新しい価値を生み出し続けることができる経営の仕組みを持つ優れた企業に対して、その取り組みを表彰する「日本経営品質賞」を1995年12月に(財)社会経済生産性本部が創設



# 経営品質向上プログラムの導入

## ■経営品質向上プログラム

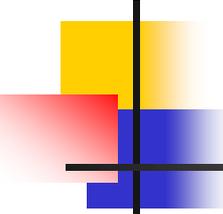
日本経営品質賞の考え方をを用いて、事業環境や市場の変化に即応しながら、卓越した業績を生み出す経営革新を実現する体質を作り上げるための基本的な考え方やその施策



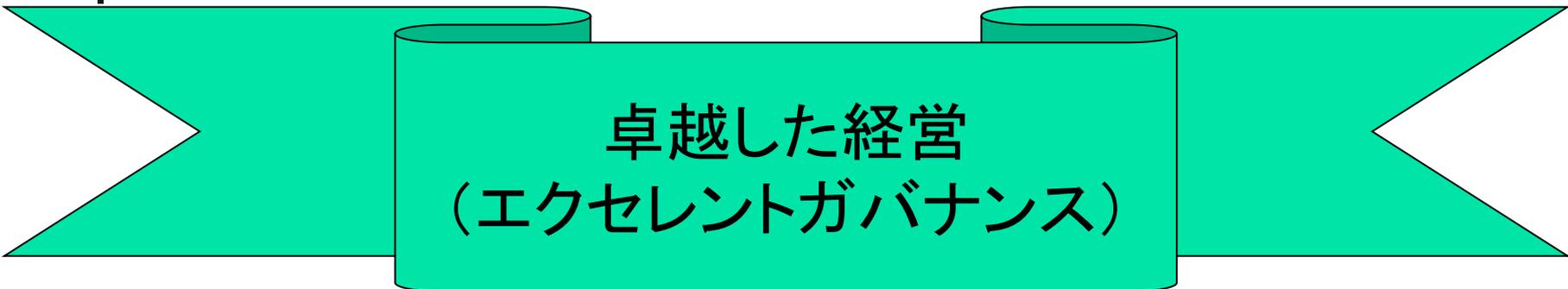
# 経営品質向上プログラムの導入

- 行政経営品質

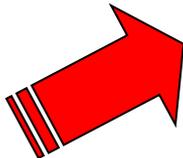
民間企業における経営品質向上プログラムの  
考え方を行政版に置き換えたもの



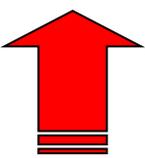
# 基本理念



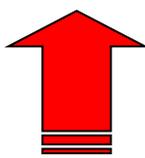
卓越した経営  
(エクセレントガバナンス)



顧客本位



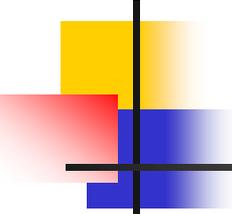
独自能力



職員重視

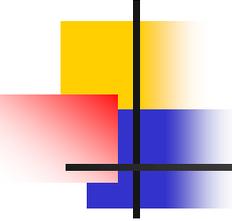


社会との調和



# 4つの基本理念への共感

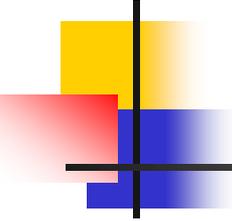
4つの要素	基本理念	反する考え方
①顧客本位	価値の基準は売り上げや利益ではなく、顧客からの評価である	利益第一。利益至上主義。「顧客第一」はお題目。
②独自能力	他組織の横並びでなく、独自能力の追求、特色ある価値実現が大事だ。	とにかく競合に勝つことが重要。がむしゃらに根性でやれば勝つ。
③職員重視	職員一人ひとりを重視し、やる気と元気を大切にする。	職員満足は関係なく、コストを抑えて使うことがポイントだ。
④社会との調和	組織は社会の一員として、社会に貢献することが重要である。	情報を隠し、社会にそれなりの貢献をしておけばよい。



# アセスメントと改善活動が両輪

---

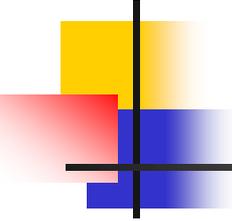
- アセスメント＝診断
- 診断→改善活動へ



# アセスメントに必要な3点セット

---

- 組織プロフィール
- 8つのカテゴリー
- 評点ガイドライン



# 組織プロフィール

---

- 組織の経営方針などを整理するもので、アセスメントを行う前提になる。

- ① 将来のありたい姿
- ② サービス対象者
- ③ 所属を取り巻く環境
- ④ パートナー
- ⑤ 変革認識
- ⑥ 組織情報

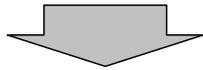
# 〇〇部の経営方針

〇〇部長 × ×

## 1. 川西市の重点方針

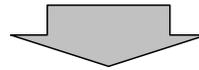
元気でうるおいのあるオンリーワンのまちづくりを実現するため、第4次総合計画後期基本計画「笑顔・ときめき川西プラン」に掲げる次の3点に重点を置いて施策展開を図ります。

- ①次代を担う子どもたちが健やかに育つ環境づくり
- ②市民の笑顔と元気がみなぎるまちづくり
- ③市民とともに築く未来に向けたまちづくり



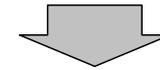
## 2. 〇〇部のサービス対象者

Blank box for service targets.



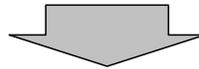
## 3. 〇〇部を取り巻く経営環境

Blank box for operating environment.



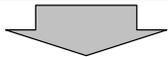
## 4. 〇〇部がめざす姿

Blank box for the vision of the department.



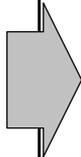
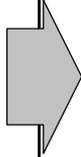
## 5. 〇〇部の現状

(1)重要成功要因	(2)経営上の強み	(3)経営上の課題
		①市民の満足に向けて
		②組織体質の改善に向けて



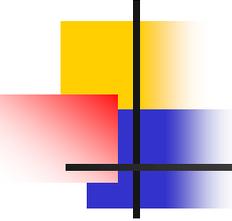
6. ○○部の重点目標

(1) 市民満足の向上に向けて	
(2) 組織体質の改善に向けて	



7. ○○部の目標

指 標		H19実績	H20実績	H21実績	H22実績	H23末目標	H24末目標
① 施策評価指標							
② 市民満足向上目標							



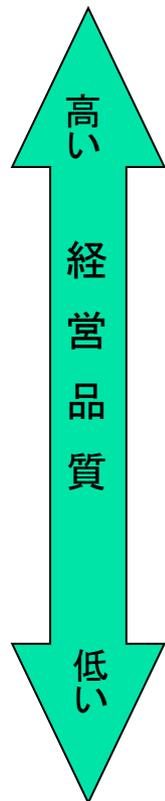
# 8つのカテゴリー

---

- ①所属長のリーダーシップ
- ②組織の社会的責任
- ③サービス対象者の理解と対応
- ④戦略の策定と展開
- ⑤人材育成と組織能力の向上
- ⑥仕事の進め方
- ⑦情報の管理と活用
- ⑧所属の活動結果

# 評点ガイドライン

## ■ モノサシをあてて1000点満点評価



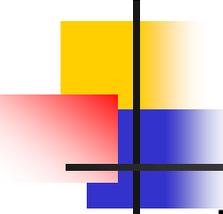
高い	顧客本位で卓越した業績をうみ続ける世界的リーダー企業「究極の理想像」	AAA 900~1000
経営品質	期待した改善・革新によって優れた業績を産み続ける企業「業界トップ」	AA 700~899
品質	効果がある改善学習が行われており、多くの領域で良好な結果	A 500~699
質		B 300~499
低い		C 100~299
		D 0~99

経営幹部のリーダーシップで推進中。基本的仕組みができています。主要な領域で良好な結果

経営品質の考え方をういた改善が重要な活動と明確に位置づけられており、いくつかの領域で良好な結果

経営品質の重要性を認識し始めているが、取り組みは開始したばかり。



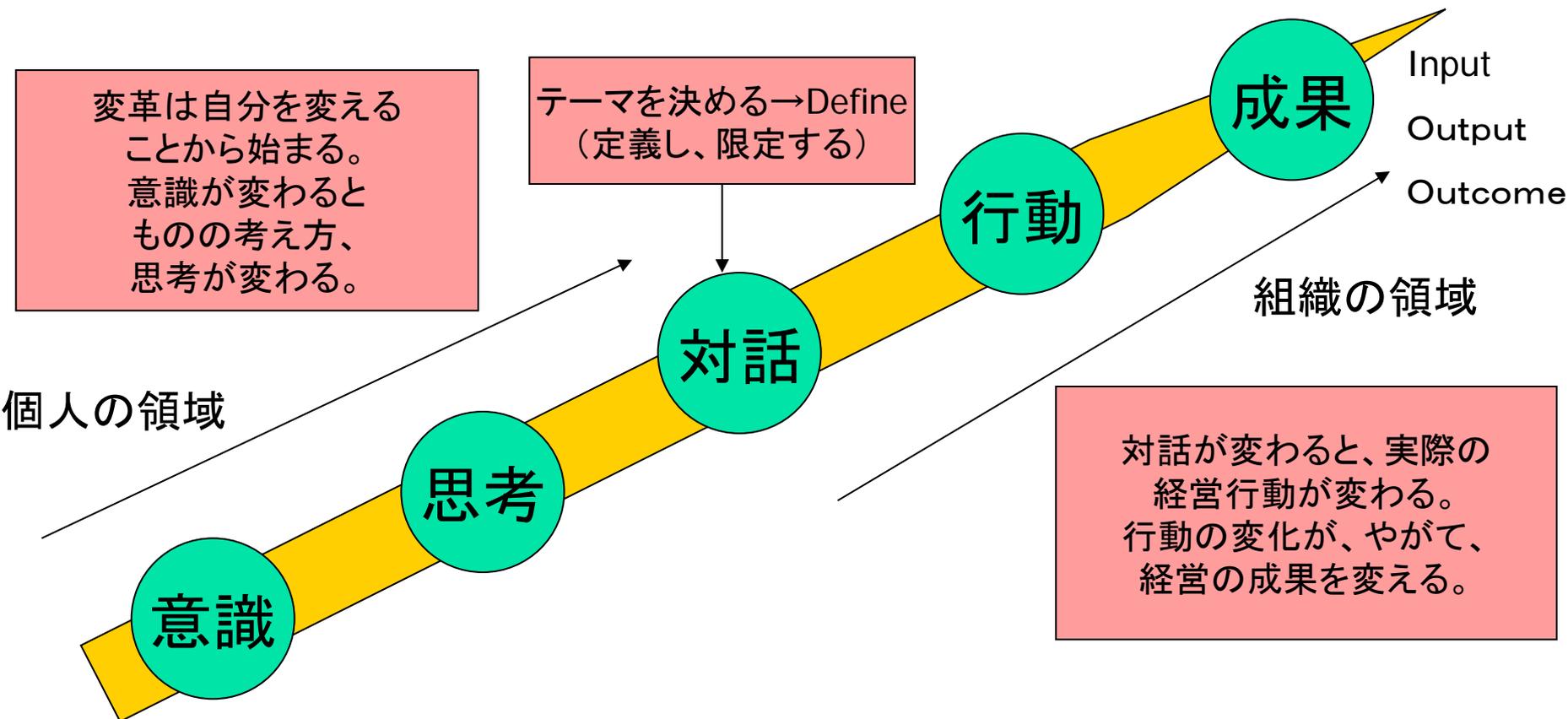


# 具体的な改善へ

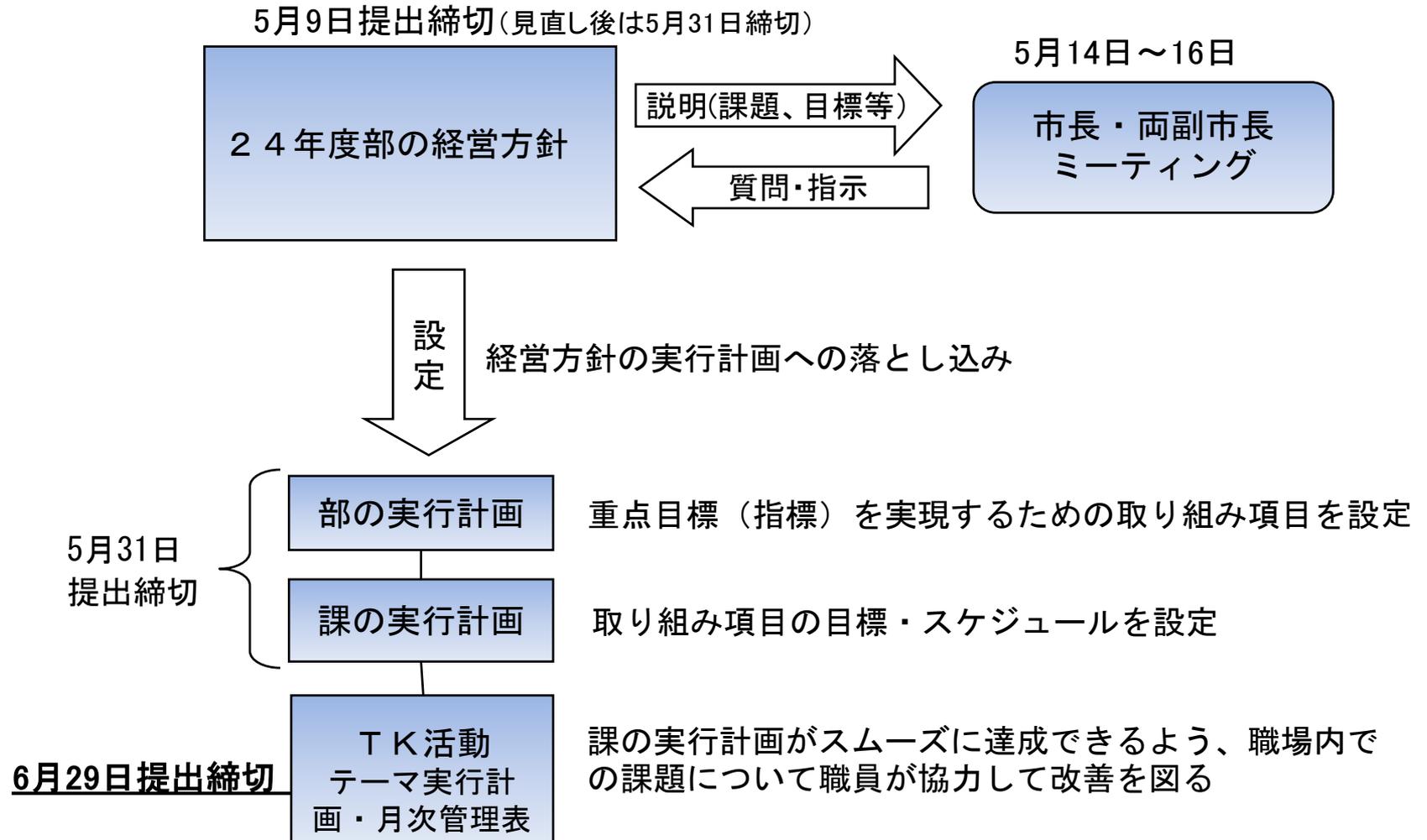
カテゴリー	強み	弱み(改善課題)
①所属長のリーダーシップ	・職場における意見交換	・ビジョンの理解度が不十分
②組織の社会的責任	・ISO14001の取り組み	・社会貢献の目標設定が不十分
③サービス対象者の理解と対応	・多様な手法によるニーズ把握	・苦情の再発防止対策が必要
④戦略の策定と展開	・体系的な戦略策定	・戦略と組織改革の連動が必要
⑤人材育成と組織能力の向上	・研修センターによる体系的研修	・職員の満足度調査が必要
⑥仕事の進め方	・ミーティングの徹底	・顧客要望が柔軟に反映できていない
⑦情報の管理と活用	・分かりやすい数値目標の設定	・顧客や地域との情報共有
⑧所属の活動結果	・物件費の削減	・職員満足度が低い

# 経営革新軌道における対話

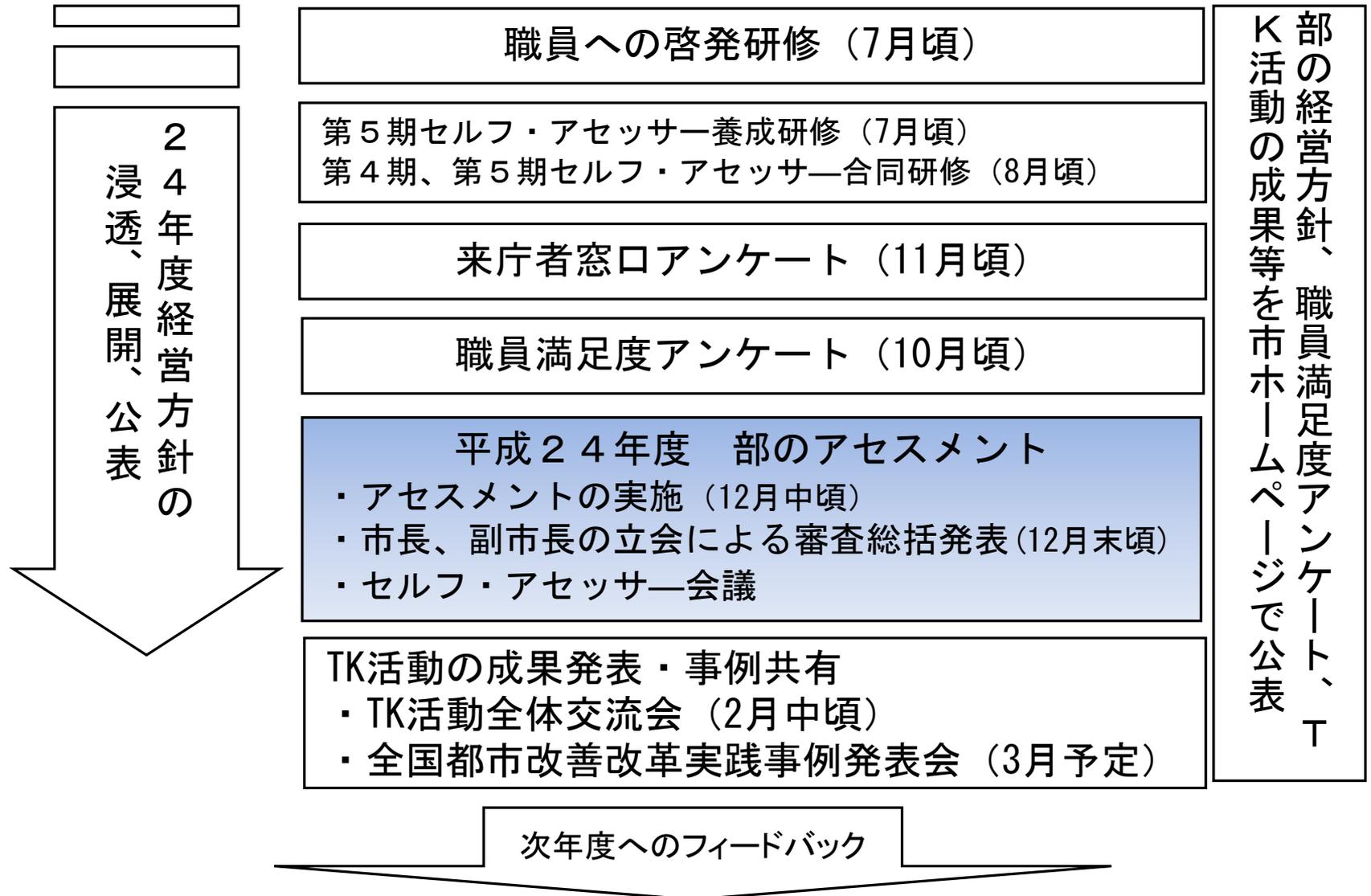
◇対話は「組織行動の変革」と「個人の変革」をスイッチする重要な行為



# 川西市における経営品質向上プログラムのPDCAサイクル1



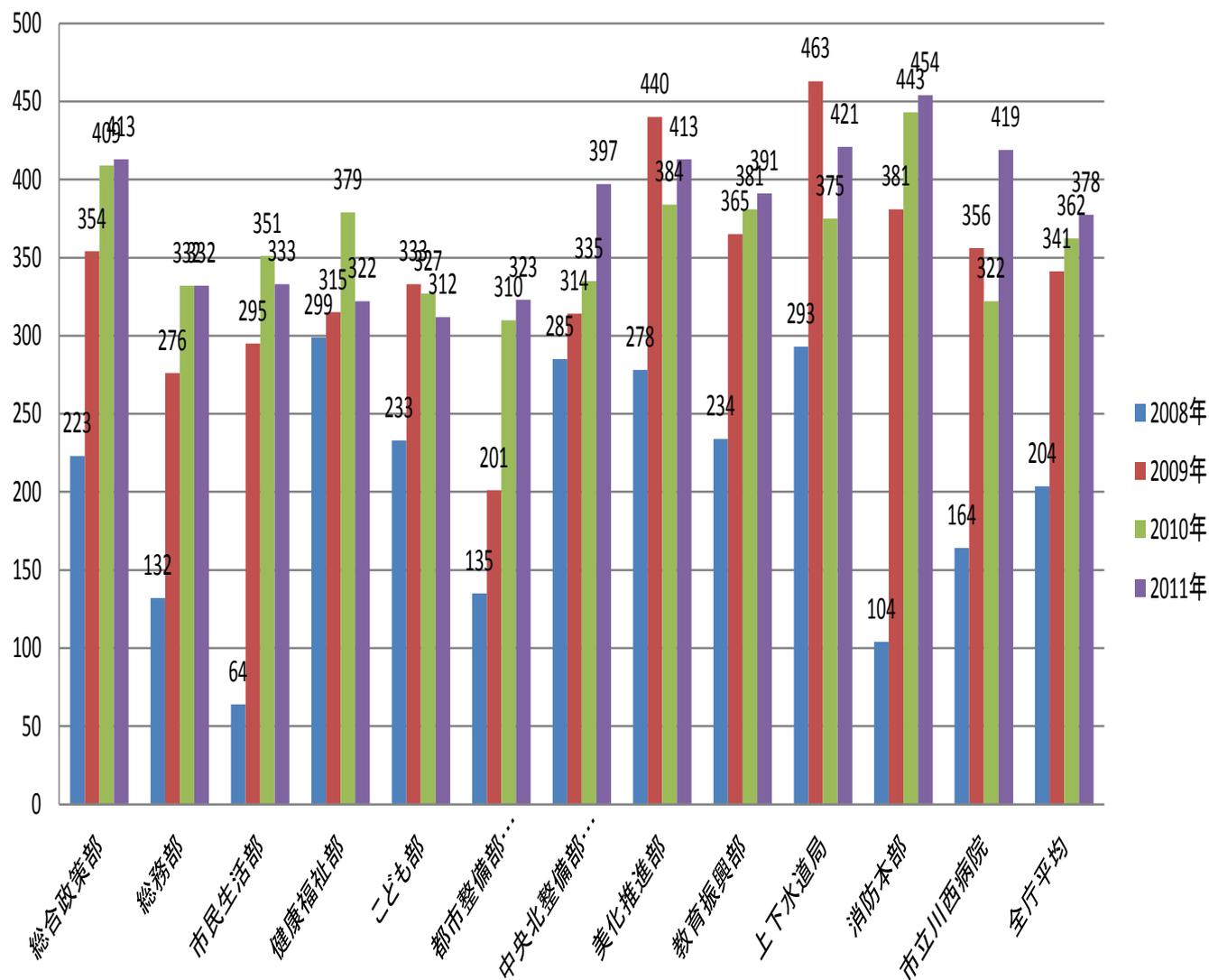
# 川西市における経営品質向上プログラムのPDCAサイクル2



# セルフ・アセッサーの養成経過

20年度	1期新規アセッサー	30名	計30名
21年度	1期継続アセッサー	25名	
	2期新規アセッサー	18名	計43名
22年度	2期継続アセッサー	14名	
	3期新規アセッサー	33名	計47名
23年度	3期継続アセッサー	27名	
	4期新規アセッサー	21名	計48名
24年度	4期継続アセッサー	19名	
	5期新規アセッサー	29名	計48名
		合計	131名

## 「総合結果」に対する部署別評価



レベル	評点	内容
D	~99	改善に向けた取り組みが見られない
C-	100~199	過去の枠組みの中での改善行動
C+	200~299	
B-	300~399	過去の枠組みに基づく改善から、革新へ向かい始めている
B+	400~499	
A-	500~599	求める価値を戦略的に考え、行動している
A+	600~699	
AA-	700~799	組織全体で学習することにより、大きな価値を生み出している
AA+	800~899	
AAA	900~	革新軌道に乗って最高の成果を生み出し続けている

# 平成24年度職員満足度アンケート結果

I 仕事に関する満足度			
問1)あなたは、現在の仕事にやりがいを感じますか。	3.71	2	23.25
問2)あなたは、自分の適性や関心、能力からみて現在の仕事自分が向いていると思いますか。	3.22	5	
問3)あなたに対する仕事の配分は、公平であると思いますか。	3.09	6	
問4)あなたは、過度の精神的不安を感じることなく仕事を進めることができますか。	2.79	7	
問5)あなたの能力や仕事への姿勢、成果は正当に評価されていると思いますか。	3.31	4	
問6)職場の方針や業務の進め方の決定に参加する機会があると思いますか。	3.37	3	
問7)あなたには仕事を進めていくうえで、相談できる人がいると思いますか。	3.76	1	
II 勤務条件等に関する満足度			
問8)自分の仕事内容や責任に見合った給与を受けていると思いますか。	3.21	1	17.15
問9)あなたは、自身の人事異動(配置)に満足していますか。	3.12	2	
問10)現在の昇任のしくみは適切なものだと思いますか。	2.51	5	
問11)あなたの職場では、休暇が取りやすいですか。	2.83	4	
問12)福利厚生(の事業)は役立っていると思いますか。 *「福利厚生(の事業)」…共済組合、互助会による各事業	2.37	6	
問13)あなたが生活していく中で、現在の総労働時間は適度だと思いますか。	3.11	3	

### Ⅲ 職場環境に関する満足度

問14) あなたの職場の環境は快適だと思いますか。 *「職場の環境」…スペース、温度、照度等物理的な職場環境	2.65	5	18.49
問15) 休憩・休息など「ホッ」とできる場所があると思いますか。	2.32	6	
問16) あなたの職場では、セクシャル・ハラスメントを許さない雰囲気があると思いますか。	3.47	2	
問17) あなたの職場では、自由に意見や提案ができるなどみんなが協力し合う雰囲気があると思いますか。	3.41	3	
問18) あなたの職場では、必要な情報が確実に伝えられていますか。	3.15	4	
問19) あなたの職場では、研修への積極的な参加について、支援がなされていると思いますか。	3.49	1	

計

58.89

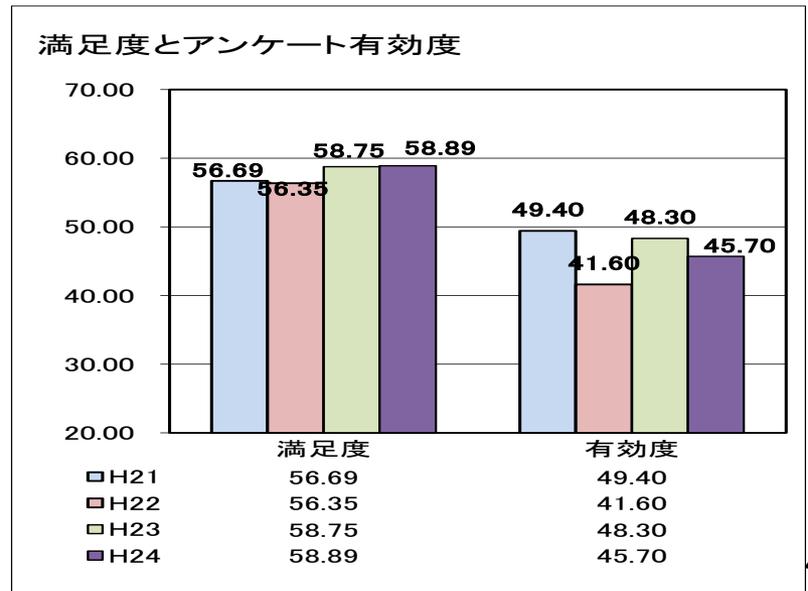
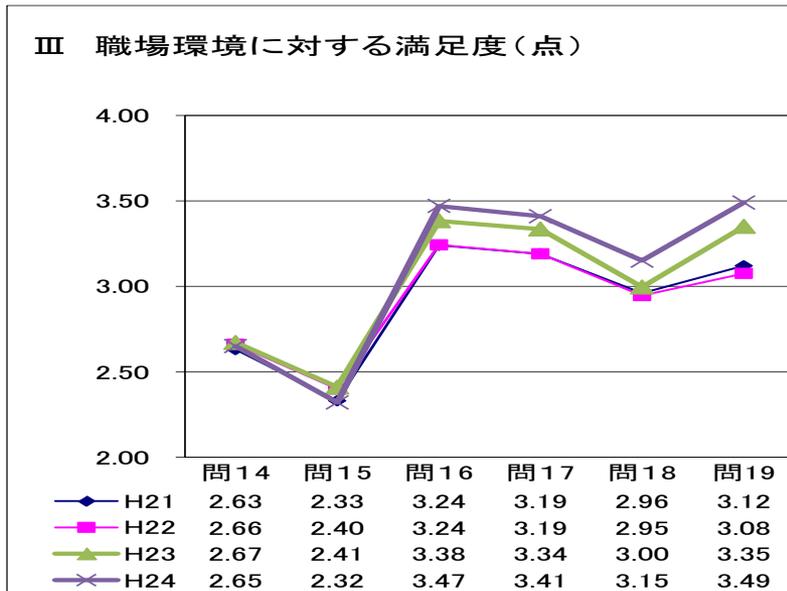
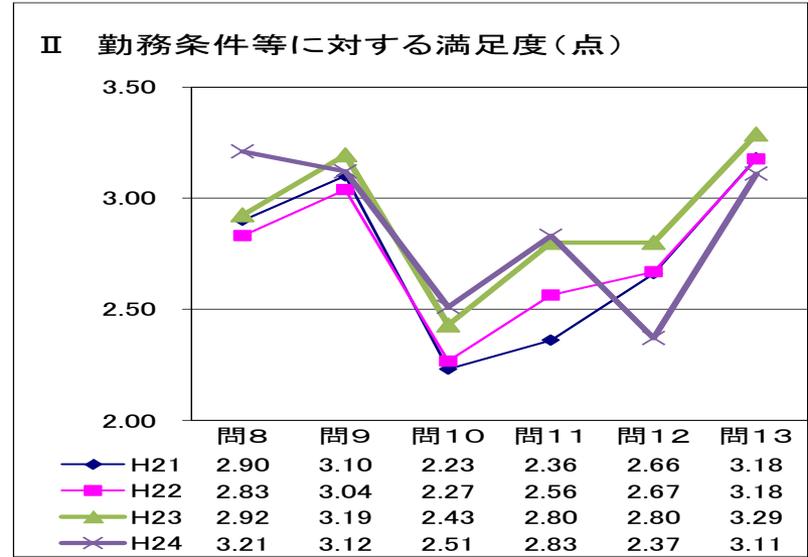
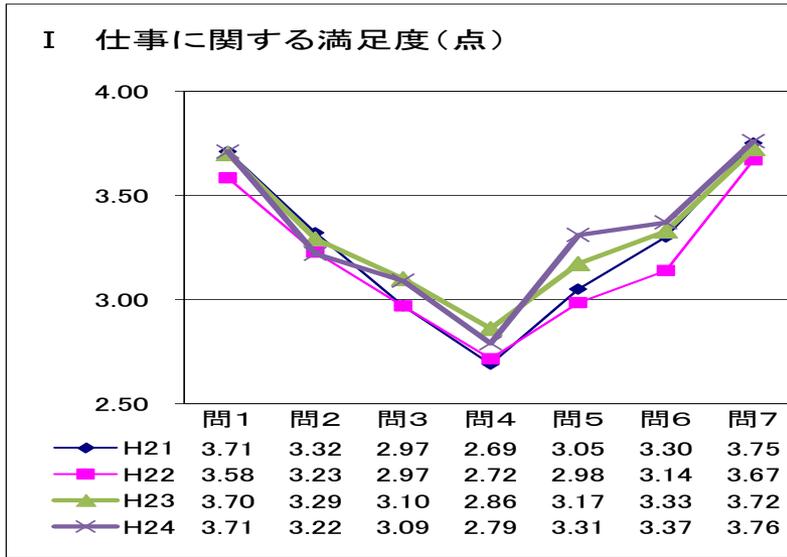
### Ⅳ その他

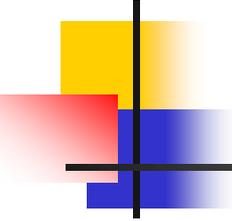
問20) このアンケートは職員満足度の把握及び満足度の向上に向けた取り組みにあたって有効であると思いますか。※有効度の数値は、「そう思う」・「やや思う」と答えた人の割合	45.7%
問21) 行政経営品質向上プログラムについて理解していると思いますか。。※認知度の数値は「趣旨・内容を概ね説明できる」「趣旨は説明できる」と答えた人の割合	39.0%

I 仕事に関する満足度	平均	総合 政策部	総務部	市民 生活部
問1)あなたは、現在の仕事にやりがいを感じますか。	3.71	4.17	3.72	3.53
問2)あなたは、自分の適性や関心、能力からみて現在の仕事が自分に向いていると思いますか。	3.22	3.04	2.82	3.24
問3)あなたに対する仕事の配分は、公平であると思いますか。	3.09	3.27	3.21	2.97
問4)あなたは、過度の精神的不安を感じることなく仕事を進めることができていると思いますか。	2.79	2.68	2.95	2.84
問5)あなたの能力や仕事への姿勢、成果は正当に評価されていると思いますか。	3.31	3.81	3.35	3.04
問6)職場の方針や業務の進め方の決定に参加する機会があると思いますか。	3.37	4.64	3.72	3.69
問7)あなたには仕事を進めていくうえで、相談できる人がいると思いますか。	3.76	4.29	4.10	3.76
計	23.25	25.90	23.87	23.07
II 勤務条件等に関する満足度	平均	総合 政策部	総務部	市民 生活部
問8)自分の仕事内容や責任に見合った給与を受けていると思いますか。	3.21	3.45	3.42	3.24
問9)あなたは、自身の人事異動(配置)に満足していますか。	3.12	3.15	3.06	2.94
問10)現在の昇任のしくみは適切なものだと思いますか。	2.51	3.04	2.61	2.39
問11)あなたの職場では、休暇が取りやすいですか。	2.83	1.90	2.99	1.57
問12)福利厚生の実業は役立っていると思いますか。 *「福利厚生の実業」…共済組合、互助会による各事業	2.37	2.56	2.14	2.58
問13)あなたが生活していく中で、現在の総労働時間は適度だと思いますか。	3.11	1.90	3.55	2.81
計	17.15	16.00	17.77	15.53

Ⅲ 職場環境に関する満足度	平均	総合 政策部	総務部	市民 生活部
問14) あなたの職場の環境は快適だと思いますか。 *「職場の環境」…スペース、温度、照度等物理的な職場環境	2.65	2.98	2.74	2.48
問15) 休憩・休息など「ホッ」とできる場所があると思いますか。	2.32	2.50	1.97	1.67
問16) あなたの職場では、セクシャル・ハラスメントを許さない雰囲気があると思いますか。	3.47	3.63	3.80	3.79
問17) あなたの職場では、自由に意見や提案ができるなどみんなが協力し合う雰囲気があると思いますか。	3.41	4.29	4.12	3.69
問18) あなたの職場では、必要な情報が確実に伝えられていますか。	3.15	3.69	3.63	3.43
問19) あなたの職場では、研修への積極的な参加について、支援がなされていると思いますか。	3.49	3.69	4.08	3.10
計	18.49	20.78	20.34	18.16
満足度計	58.89	62.68	61.98	56.76
Ⅳ その他	平均	総合 政策部	総務部	市民 生活部
問20) このアンケートは職員満足度の把握及び満足度の向上に向けた取り組みにあたって有効であると思いますか。※有効度の数値は、「そう思う」・「やや思う」と答えた人の割合	45.7%	85.7%	51.3%	49.0%
問21) 行政経営品質向上プログラムについて理解していると思いますか。 ※認知度の数値は「趣旨・内容を概ね説明できる」「趣旨は説明できる」と答えた人の割合	39.0%	96.4%	51.3%	58.8%

# 満足度とアンケート有効度の年度比較グラフ





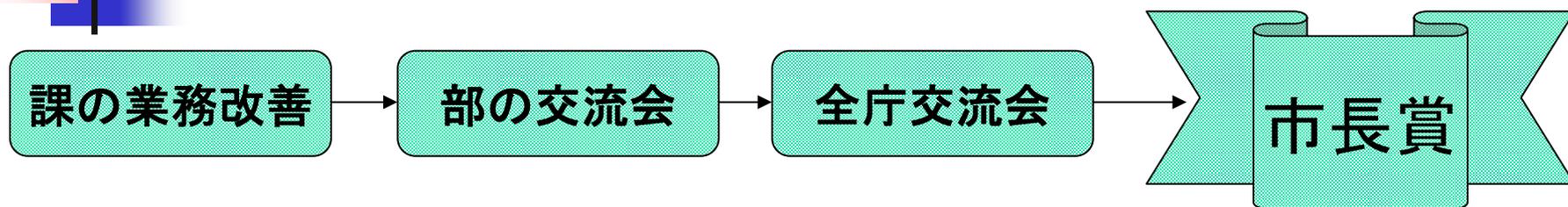
# TK(チーム改善)活動へ

---

- 平成20年度は準備段階
- 各部交流会
- 全庁交流会
- 21年度の本格的TK活動へ

# TK(チーム改善活動)

各課単位における具体的な改善活動



23年度全体交流会の様子

## 第5回チーム改善(TK)活動全体交流会

昨年7月より職員が一丸となって取り組んできたTK活動の全体交流会を平成25年2月18日(月)に開催しました。本交流会は今年で5年目を迎え、「市役所」が文字通り「市民の役に立つ所」とすべく活動した取り組みの成果を発表する場としています。

今年の交流会には、各部局から選りすぐりの12チームが参加し、熱のこもったプレゼンテーションや迫真の寸劇などが行われ、大いに盛り上がりを見せました！

大塩市長、的場副市長による審査の結果、優秀な取り組みとして表彰されたのは次のチームです。

市長賞：美化推進部合同チーム

副市長賞：職員課、総合センター

審査員特別賞：子育て・家庭支援課

各賞に輝いたチームには、表彰状が大塩市長から手渡されました。また、市長賞にはトロフィーも授与されました。

また、市長賞に輝いた美化推進部合同チームは平成25年3月22日にさいたま市で開催される第7回全国都市改善改革実践事例発表会への出場が決定

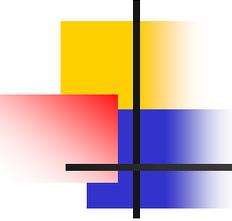


全体交流会 会場



審査員コメント





## 〔代表チームとテーマ〕 ※発表順

- 1 職員課 「WLB(ワーク・ライフ・バランス)幸せプロモーション」
- 2 中央北整備部合同チーム 「一致団結！！部みんなで情報共有」
- 3 福祉政策課 「スキルアップ・レベルアップ(課内業務の共通理解とプレゼンテーション能力の向上をめざして)」
- 4 青少年センター 「青色回転灯装備車両による見守り活動の実施」
- 5 消防課 「警防ハザードマップの作成と活用(災害に強いまち川西)」
- 6 子育て・家庭支援課 「チーム子育てで 川西の親子に 笑顔を！」
- 7 広報室 「ホームページ(フェイスブック)アクセス数 どアップ↑計画」
- 8 都市計画課 「ふるさと川西景観の情報発信」
- 9 下水道技術室 「よって・たかって・下水道(施設パトロール)」
- 10 市立川西病院チーム 「トリアージ備えあれば憂いなし」
- 11 美化推進部合同チーム 「子ども向けごみ学習会の新たな取り組み  
～収集作業員とのコラボ～」
- 12 総合センター 「総合センターにおける危険予知トレーニングの実施」

## ・「第6回全国都市改善改革実践事例発表会」に参加！（H24.3.2開催）

### 発表の様子

チーム改善(TK)活動交流会で、市長賞に輝いた市民課チームは、3月2日に大分県大分市で開催された「第6回全国都市改善改革実践事例発表会『百花繚乱 カイゼン合戦 2012 in おおいた』」に参加しました。



大会では全国から20の自治体が参加し、熱意と創意工夫にあふれる発表を行い盛り上がりを見せました。



「気分爽快で將軍」賞の授与式の様子  
今年もきんたくんと一緒に発表して、  
なんと見事に「気分爽快で將軍」賞を受賞しました！！

# 人事評価制度との連動

経営品質向上プログラム

目標による管理

部の経営方針

部、課の実行計画

経営品質で掲げた目標を反映  
目標は優先度の高いものを3~5  
個へ絞る

部長、室長、課長として達成  
すべき目標(※業務目標)

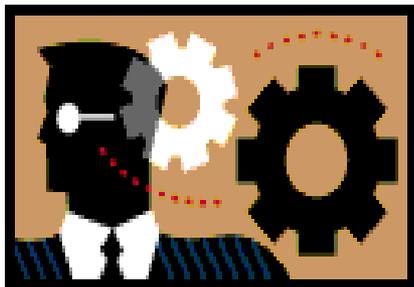
目標による管理  
と連携すること  
により、目標内  
容の向上が期待  
される。

- ①面談等を通じて、しっかりと目標設定  
や評価をすることにより、人材育成、  
業務改善に繋げる。
- ②評価結果を処遇に反映させること  
により、制度の形骸化を防ぐ。

# 簡単におさらい

## < 行政経営品質向上活動とは >

常にサービスの受け手(顧客)の立場に立って考えながら、  
組織の「あるべき姿」に向かって、  
ひたすら改善を続けていく活動



# 政策パーソンの心構え その1

政策とは？

現状と課題

現在→未来

実行

ギャップ

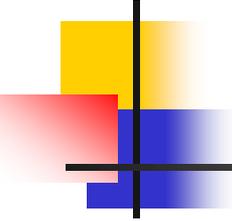
効果

未来

あらかじめ分かっている正しい答えはない



正しい政策は存在しない



# 政策パーソンの心構え その2

## 政策は変容する

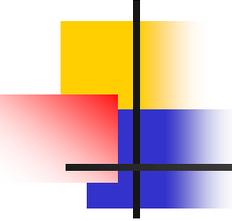
ex.「まちづくり連続講座」

(目的) 参画と協働のまちづくりを支える市民力の醸成

- ◎ 起案者 → 主管課長 → 所管部長 → 副市長 → 市長
- ◎ 予算(案) → 市議会
- ◎ 詳細企画案 → 主管課長 → 所管部長
- ◎ 実行 → 参加者アンケート → 評価・改善

Point

講師、会場、進行方法、対象者、etc.



# 政策パーソンの心構え その3

客観的評価でなければ評価でない

ex.「まちづくり連続講座」

- ・その世界ではメジャーな講師を確保できた
- ・しかも、通常の報償相場よりも安く
- ・案内チラシはうまくできた。内部の受けも上々だ

.....  
.....

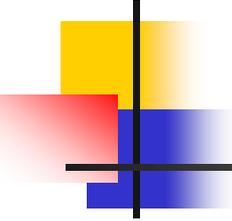
- ・定員を確保することができなかった
- ・アンケートの評価も今一つ

Point

**形を整えることに精一杯**

講師、会場、進行方法、対象者etc.

**そもそも、この事業の目的は？**



# 政策パーソンの心構え その4

---

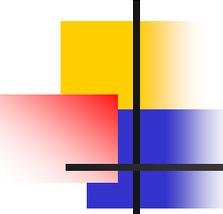
政策主体は政府セクターだけではない

ex. 「ペットボトルを捨てる」

1. 自販機のそばにあるごみ箱に捨てる
2. ラベルを外して本体を捨てる
3. キャップは回収ボックスに捨てる

政府政策・市民・事業者政策

市民の日常生活は、「政策・制度のネットワーク」の上に成り立っている

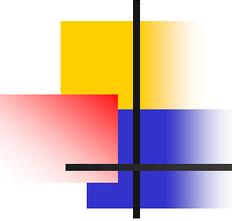


# 政策パーソンの心構え まとめ

---

自治体とは

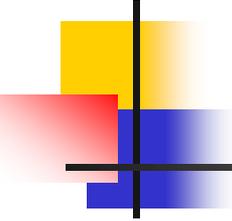
その地域になくなくてはならない(と一定の手続きによって決定される)政策・制度を、市民から信託された権限と財源で、市民の代わりに行う「市民の政府」



# 政策パーソンの心構え まとめ

---

- 課題は無限、資源は有限
  - ・「仕事量を資源量に応じて調整できる」ための構造改革
  - ・何が「地域に不可欠」なのかをどういう手続きで確認するか
  - ・「何に、どのように、どれくらい資源を投入しているかの可視化
- 正しい政策は存在しない
  - ・「間違いうる組織」としての認識
  - ・なぜそうしたか＝決断の重要性と過程の透明化、説明責任
- 他の政策主体との関係性の構築
  - ・「社会のメンバー」、「政策・政府のユーザー」、「政府のオーナー」  
としての市民との参画と協働



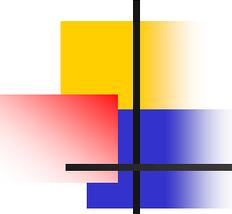
# 質問1 行政評価とは何か

---

行政評価とは、「目標管理(Management by Objective)」の手法を国や自治体政府の経営に生かすための仕組みである。

目的: 政府の予算の使い方や職員の仕事の生産性を上げる。

- ・資金、人員を最もニーズの高いところに最適配分する
- ・配分した人員、資金が最大効率で成果を挙げるようマネジメントする



# 課題 行政には競争原理がない

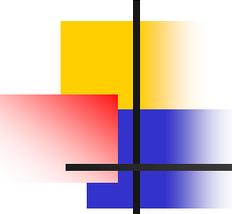
---

民間：マーケットの洗礼

行政：擬似的競争原理＝情報公開

行政目標と達成状況の公開により、行政活動を  
白日の下にさらし、国民、住民の評価を受ける

他の自治体との比較による切磋琢磨

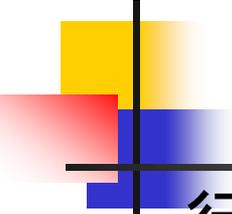


## 質問2 どのような指標を使うか

「生産性指標」: アウトカム(企業でいう利益)  
                  アウトプット(企業でいう売上)  
                  インプット(企業でいう投資)

「サービス指標」: 顧客満足度  
                      職員満足度  
                      手続きの迅速・簡便さ

「納税者」=「株主」 「サービスの受益者」=「顧客」  
「株主の利益」と「顧客の利益」は必ずしも一致しない  
利益の最大化を望む株主と価格の低廉を望む顧客  
「経営」とは矛盾する二つのスポンサーの納得を同時に  
得る営み=行政経営も同じ原理



# 留意点1

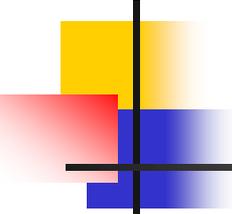
行政効率だけを重視するのなら「生産性指標」だけに着目すればよい

BUT

顧客を満足させ、かつ事業を安定化させるためには、必要な投資が不可欠



「生産性指標」と「サービス指標」のすべてのバランスを取ることが大切



## 留意点2

---

**指標の選択や目標値の設定に過度に神経質になってはいけない**

業績測定の結果というのはただの数値でしかない

目標値が達成できなかったとしても原因を分析しない限り、執行者の責任とは言い切れない

評価指標の数値は、評価者が総合的な判断を下すための一つの材料に過ぎない

# 質問3 誰が正しく評価できるのか

## 良く抱く疑問

## 経営者の発想

正しい評価など誰もできない



「正しい」「正しくない」と論じる前に  
実態をまず数値化して開示する

間違った評価結果をもとに  
施策が展開されてはならない

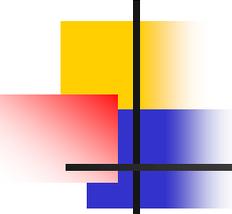


万一、そうであっても関係者の間で  
データが共有され、オープンに議論さ  
れている限り、最終的には正しいところ  
に収まる

専門家が認めないような評価者  
が評価すると、信頼が損なわれる



専門家だけによる評価結果は、必ずし  
正しい評価とは言えない。結果だけで  
プロセスに対する信頼感も大切



# 核心

---

行政評価の「評価」とは、権威を持って「評価する」とは全く違う意味の言葉である。

英語では「Performance Measurement」（業績測定）であり、単なる数字の測定とその解釈に過ぎず、誰かが権威を持って「評価する」というたぐいのものではない。

評価される側は素直に数字を出し、評価する側も威丈高にならず前向きに議論する。それが「行政評価」

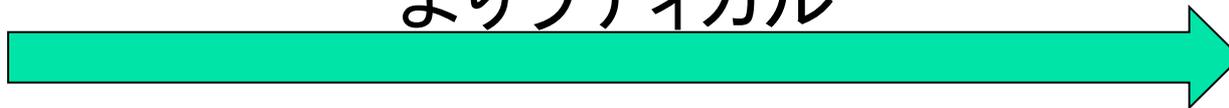
## 質問4 経営にどう生かすか

予算を削り、人員を減らし、組織を簡素化するという  
3点セットの行政改革との決別

企業の経営改革

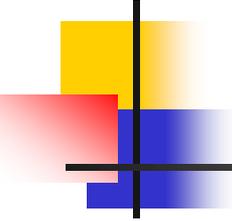
①TQM→②戦略の見直し→③市場からの撤退・  
新規参入

よりラディカル



行政評価は、①②に直接活用でき、③の改革の判断  
材料を提供する。

Ref. 経営品質向上プログラム

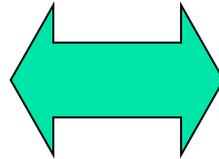


# 最後に

---

価値前提の経営

全体最適の経営



行政評価

正確には

業績測定 (Performance Measurement)

が不可欠

一人ひとりが理念を胸に、行動に移すこと



ご清聴ありがとうございました。

# 資料編

- 1 総合計画の趣旨
- 2 幸せ実感
- 3 都市像
- 4 生活視点
- 5 施策体系
- 6 住む
- 7 成果報告書の見方
- 8 暮らし施策
- 9 暮らし事業
- 10 総合政策部の経営方針
- 11 各課TK

## 第1章 総合計画の策定にあたって

### 1 総合計画策定の趣旨とこれまでの経緯

本市における総合計画は、昭和45年（1970年）に「川西市行政運営に関する基本構想」を策定し、以来、社会経済情勢の変化などに対応するため、昭和58年（1983年）、平成5年（1993年）、平成15年（2003年）の3回にわたり「川西市総合計画」を策定し、総合的かつ計画的なまちづくりを進めてきました。第4次川西市総合計画では、官治・集権型の社会・経済・政治システムから自治・分権型のシステムへの転換が必要とされたため、協働とパートナーシップのまちづくりを進めてきました。

この間、地方自治法が改正され、市町村における基本構想策定の義務づけはなくなりましたが、本市では、「川西市総合計画の策定等に関する条例」に基づき、総合的かつ計画的な市政の運営を図るために、将来における本市のあるべき姿と進むべき方向性について定める指針として、第5次川西市総合計画を策定するものです。

第5次川西市総合計画では、経済規模の拡大という量的成長よりも、成長の中身に着目した参画と協働のまちづくりを進め、その先にある幸せの実現をめざします。



なお、第5次川西市総合計画の策定にあたっては、公募市民などによる「まちづくりワークショップ\*」や「地域別懇談会」などの様々な方法から市民のニーズを把握することに努め、可能な限りそれらを本計画に反映させています。

\* 第1次川西市総合計画：「川西市行政運営に関する基本構想」は社会情勢の大きな変化のため、昭和60年度（1985年度）までの計画期間を見直し、代わりに第2次川西市総合計画を昭和58年度（1983年度）に策定した。

\* 第2次川西市総合計画：平成3年度～平成4年度（1991年度～1992年度）については、第3次川西市総合計画の策定に向けた準備期間として、「行政運営に係る暫定方針」に基づきまちづくりが進められた。

\* ワークショップ：多様な価値観や考え方を受け入れ、立場や年齢の違いにかかわらず、誰もが自由に意見を言いやすく形式張らないように工夫された会議の手法をいう。市民参加型のまちづくりで近年よく利用される。

## 2 総合計画の役割

総合計画は、市の将来像やそれを構成する地域ごとのありたい姿を示し、行政と多様な主体が担うまちづくりの基本施策や方向性、目標などを示すもので、次のような役割があります。

### ○参画と協働のまちづくりを進める指針

市民・市民公益活動団体\*・事業者・行政など様々な主体が、参画と協働のまちづくりを進めていくうえにおいて共有すべき指針としての役割を果たします。

### ○行財政運営の指針

総合的で効果的な行財政運営を行うための指針としての役割を果たします。

### ○他の行政機関などとの相互調整や個別計画の基本となる指針

総合計画は、国や県などが策定する計画や実施する事務事業に反映されるなど、相互調整の指針としての役割を果たすほか、都市基盤\*、福祉、教育、子育て、産業、環境、文化、スポーツなど市民生活のあらゆる分野を横断する最も上位に位置づけられる計画であり、各個別計画と整合性を図る役割を果たします。

また、本計画では本市のおかれている現状と課題を整理し、計画期間において重点的に取り組んでいくことなどを示しています。



これまでの総合計画

\* 市民公益活動団体：自主的・自発的に不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与することを目的とした活動を継続的に行う非営利の団体。

\* 都市基盤：道路・街路、鉄道、河川、上下水道、エネルギー供給施設、通信施設などの生活・産業基盤や学校、病院、公園などの公共施設のこと。

### 3 計画の名称及び構成と期間

本計画は、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」の三層構造で構成します。それぞれの概要は、次のとおりです。

#### ○名称及び構成

##### ◆基本構想

まちづくりの理念のもとに、めざす将来像を明らかにし、それを達成するための目標と政策を示すものです。

##### ◆地域別構想

地域における基本構想として位置づけ、おおむね小学校区を基本とした14地域で策定し、計画期間は10年程度としていますが、今後の取り組みの中で柔軟に対応をするものです。

##### ◆基本計画

基本構想に基づき、具体的な施策の目標と取り組み内容を総合的・体系的に示すものです。

##### ◆実施計画

基本計画の施策を具体的にどのように実施していくのかについて5年間の期間で示すもので、本書とは別に策定し、その進行状況に合わせて毎年度見直しを行うものです。

#### ○計画期間

◆基本構想：平成25年度～34年度（2013年度～2022年度）【10年間】

◆地域別構想：平成25年度～34年度（2013年度～2022年度）

【おおむね10年間／ただし、柔軟に対応】

◆基本計画：前期：平成25年度～29年度（2013年度～2017年度）

後期：平成30年度～34年度（2018年度～2022年度）【5年間】

◆実施計画：前期：平成25年度～29年度（2013年度～2017年度）

後期：平成30年度～34年度（2018年度～2022年度）【5年間／毎年度見直し】

#### ○進行管理

本計画の施策に対して評価指標\*を設定し、決算成果報告書などと連動した進行管理を行います。

\* 評価指標：行政活動を数量的に評価するための指標。達成度や伸び率を計算するなど数値として取り扱えることが前提となる。実際の行政評価において用いられる指標には様々なものがある。

○地域別構想に基づく地域づくり

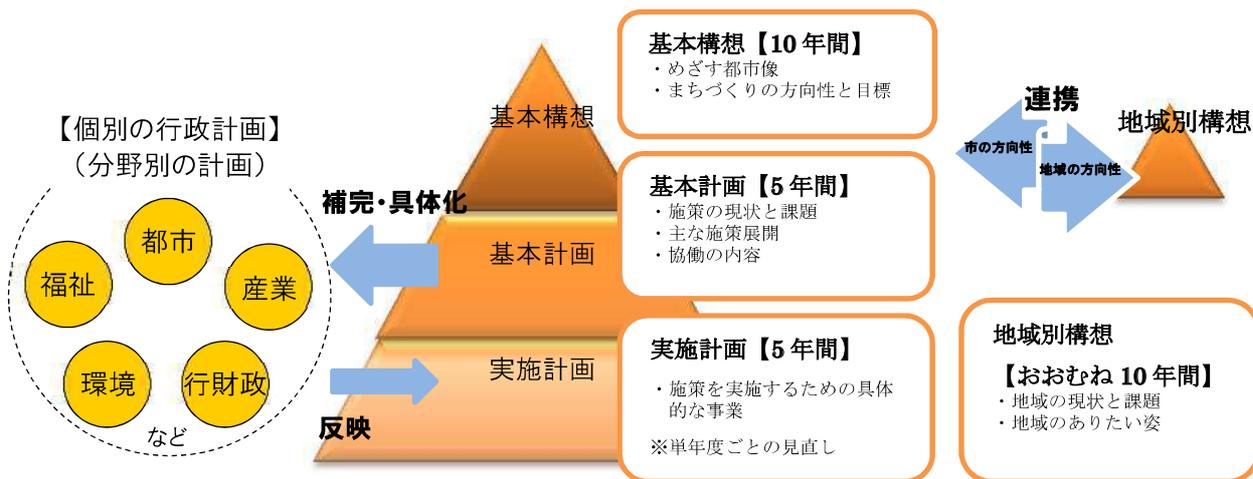
地方自治は、国の一定地域を基礎とする地方自治体が、自主・自立的に行政を担当する権能を有するという「団体自治」と、地域住民が、地域的な生活課題を住民の意思と責任に基づき解決するという「住民自治」の二つの要素で成り立っています。

とりわけ、住民自治は、団体自治を支える基礎となるもので、その充実・強化なくして、地方自治の持続的な発展を期することはできません。

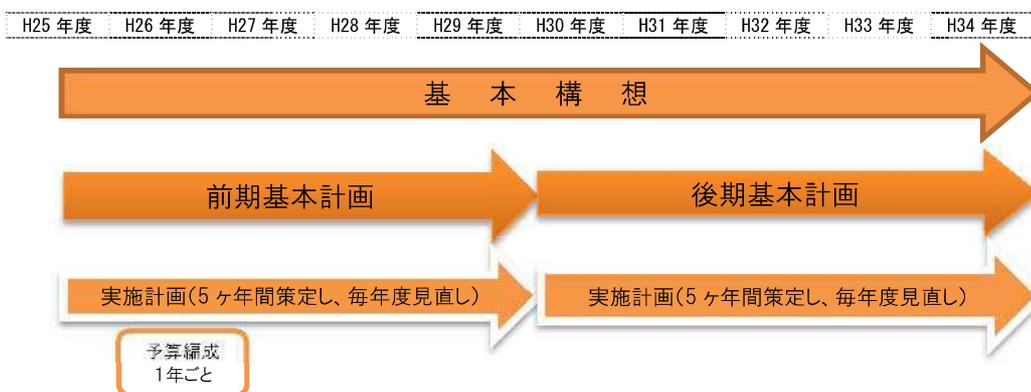
そのため、第5次川西市総合計画では、このようなまちづくりの姿を具現化する一つの方策として、新たに、地域住民自らの発意による地域（おおむね小学校区を基本とした14地域）のありたい姿を掲げた地域別構想を策定し、総合計画に位置づけました。

構想を実現するためには、これまで行政が主導して担ってきた地域の課題に対し、地域住民自らが、その解決にあたることのできる具体的な仕組みが必要となることから、一定の権限や財源を地域へ移譲する「地域分権制度」の構築を進め、市民と行政が適切な役割分担のもとで、地域の特性や多様性を尊重したまちづくりを進めます。

■ 総合計画の構成と各個別計画との関連性のイメージ図



■ 総合計画の期間のイメージ図



### 3 川西市民の「幸せ」の実感と意識

国では、国内総生産（GDP）\*など経済指標だけでは測れない国民の幸福感を調べるため「幸福度指標」を検討しており、内閣府は「国民生活選好度調査」を毎年実施しています。

本市においても、GDP に配慮しつつもこれまでのような経済規模の拡大が望めない時代において、市民の幸福につながる「成長」のあり方を探り、限られた財源の中で「幸せ」に焦点を絞った政策づくりを進めていくことが求められます。

このような背景から平成 23 年度の「川西市市民実感調査」においても、社会生活全般において、幸せを実感できる生活のために「重視する事項」や、寄与すると思われる「行政の取り組み」、「市民の実感」などについて、内閣府が実施した平成 22 年度「国民生活選好度調査」と同様の調査を実施し比較しました。

結果の一部は次のとおりです。

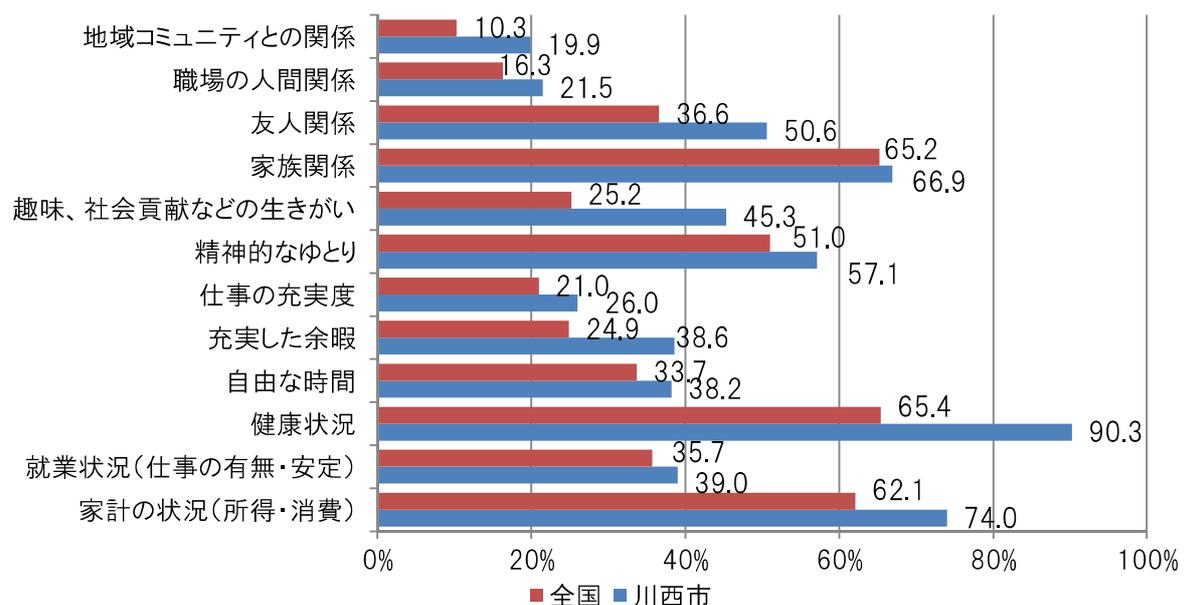
#### ○幸福度の判断に際し重視する項目比較

##### ◆幸せを実感するために重視する事項の上位

社会生活全般において、幸せを実感できる生活のために重視する事項は、本市においても全国においてもおおむね同様の傾向を示し、1 位から 3 位は「健康状況」「家計の状況」「家族関係」で同じ結果となりました。ただし、2 位は本市と全国で異なり、本市が「家計の状況」であるのに対し、全国は「家族関係」となっています。

##### ◆重視する事項の回答率が高め

全体的な傾向は本市と全国ではよく似た結果となりましたが、「健康状態」は全国が 65.4% であるのに対し、本市が 90.3% と約 25 ポイント高く、また、「趣味、社会貢献などの生きがい」は、全国は 25.2% であるのに対し、本市は 45.3% と約 20 ポイント高くなっています。



国民生活選好度調査: 全体(N=3,573)  
市民実感調査: 全体(N=534)

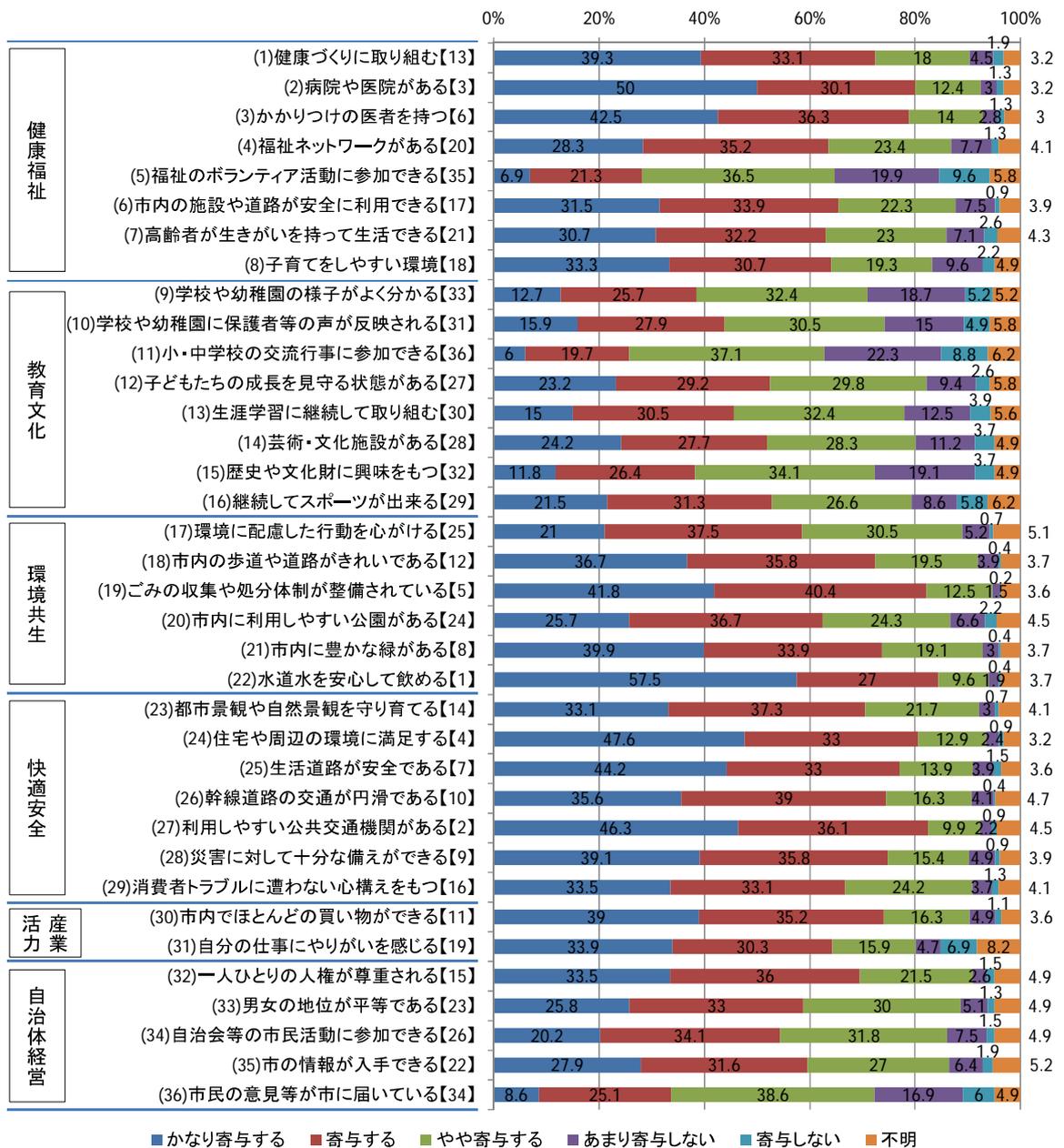
資料: 全国「国民生活選好度調査」(平成22年度)  
川西市「川西市市民実感調査」(平成23年度)

\* 国内総生産（GDP）：一定期間に国内で生産された財貨・サービスの価値額の合計。国内総生産から海外での純所得を差し引いたもの。国内の経済活動の指標として用いる。

○幸せに対する市民の実感

さらに、平成 23 年度「川西市市民実感調査」において、同調査の質問の中にある「行政の取り組み」や「市民の実感」の各項目が、市民の幸せにどのくらい寄与するかを調査したところ、最も寄与度が高いのは「(22) 水道水を安心して飲める」、次いで「(27) 利用しやすい公共交通機関がある」、「(2) 病院や医院がある」となっています。

全体(N=534)



※【 】内は順位を表示

以下の表は前ページのアンケート項目の結果を第4次川西市総合計画の体系である「健康福祉」、「教育文化」、「環境共生」、「快適安全」、「産業活力」、「自治体経営」の6つの分野に分類するとともに、市民の幸福度の寄与を4点満点で点数化し、年代別に表しています。

結果を見ると全年代において幸福度への寄与は「環境共生」、「快適安全」がどの年代も高くなっています。

また、10代は「環境共生」が高く、20代から70代以上は「快適安全」が高くなっています。

「教育文化」は全世代において低いものの、現役世代の10代と子育て世代の30代、40代では高く、「産業活力」は買回り品\*への意識や就業に対する意識の高さから40代以下が高くなっています。

このように年代によって幸福に対する価値基準が異なることが考えられます。そのため、市民の幸福度を高めるまちづくりを進めるにあたっては、生活者の視点から施策展開を図ることが重要です。

今後も引き続き何が市民の幸福に寄与するのかを検討し、施策に反映させていくことが必要となります。

全体(N=534)

(点/4点)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	全体
健康福祉	2.80	2.84	2.98	2.93	2.92	2.85	2.85	2.88
教育文化	2.47	2.33	2.63	2.42	2.30	2.35	2.33	2.41
環境共生	3.26	3.17	3.20	3.13	3.01	3.03	3.08	3.13
快適安全	3.19	3.32	3.26	3.24	3.11	3.07	3.10	3.18
産業活力	3.18	3.29	3.02	3.04	2.89	2.92	2.99	3.05
自治体経営	2.91	2.66	2.75	2.63	2.70	2.67	2.71	2.72

数値は平均値

資料:「川西市市民実感調査」(平成23年度)

※「かなり寄与する」=4点、「寄与する」=3点、「やや寄与する」=2点、「あまり寄与しない」=1点、「寄与しない」=0点として、加重平均により点数化しています。なお、不明(無回答など)は点数化する際の母数に含めていません。



笑顔の家族

\* 買回り品：耐久消費財や趣味品などをいい、これらの商品は価格や品質の比較のため、消費者がいくつかの商店を「買回る」ため、このようにいわれる。なお、普通生活雑貨のことを、買回り品に対して、最寄り品という。

## 第1章 めざす都市像

### 1 めざす都市像

であい ふれあい ささえあい  
輝きつなぐまち

#### ○都市像へ込められた願い

まちへの思いは、様々な出会いから始まり、他者へと紡ぎ、点から線へ、線から面へ、相互扶助の精神を広め、やがてあふれんばかりの愛情ある、支え合える参画と協働都市へと発展していきます。

そして、人やまちの資源が光り輝く都市として、この先もずっと引き継いでいきたいという、市民の幸せ実現への願いが込められています。

#### ○都市像のコンセプトと総合計画の名称

川西市民の「幸せの実現」に向けた共通のキーワードとなる「つながり」という概念を、「出会い」「ふれあい」「支え合い」という意味を込めた、3つの“あい”で表しました。

- ◆『であい』は、ひと・もの・ときを越えた様々な出“会い”や、“あい”さつなどの小さなであいを表し、
- ◆『ふれあい』は、様々な“相”手との関わりや交流、自然、歴史、文化などとのふれあいを表し、
- ◆『ささえあい』は、困った時はお互いさまという相互扶助の精神や、力をあわせて困難を乗り越える団結力や地域力などのささえあいを表し、
- ◆『輝きつなぐまち』は人やまちの資源が光り輝き、次世代へと引き継いでいくまちの姿を表しています。

これら3つの“あい”には、人と人とのつながりにおけるたくさんの馳<sup>は</sup>せる思いや、郷土を愛する気持ちが込められており、絆<sup>きずな</sup>を生む礎となるものです。これらの“あい”が人やまちの営みの中で育まれていくことで、大きな“愛”すなわち市民の“幸せ”への実現に向かっていきます。

また、第5次川西市総合計画の名称を「かわにし 幸せ ものがたり」とし、様々なまちの担い手のコミュニケーションツールとして共有していきます。



ロゴマークのコンセプトは、めざす都市像である“今後何世代にもわたり「かわにし」が輝くまちになるように”との願いが込められているキャッチフレーズから、人と人との「であい」や「ふれあい」そして「ささえあい」とすべての『あい』を人の手で「つなぐ」ように、大きなハート（あい）で包み込んでいく人の手と心を表現した図案です。

また、全体を明るくポップな色味、丸みのある文字を取り入れることにより誰もが親しみやすいロゴマークをイメージして作成されています。

本市では、このロゴマークを旗印として、めざす都市像「であい ふれあい ささえあい 輝きつなぐまち」の中にも含まれている、3つの“あい”を実感できるようなまちをめざし、本計画を着実に推進していきます。

このロゴマークは、これからの本市の発展を支えていく若者の発想と視点を取り入れ第5次総合計画のめざす都市像である「であい ふれあい ささえあい 輝きつなぐまち」のキャッチフレーズのイメージにマッチしたロゴマークにするため、本市と宝塚大学との連携協定\*の一環として、ロゴマークのデザインの制作を同大学に依頼し、多くの応募の中から選ばれた作品です。

\* 宝塚大学との連携協定：平成20年（2008年）に本市と同大学の間で相互協力をまちづくりに生かすため、協定を結んでいる。  
本協定に基づき制作された本作品は宝塚大学造形芸術学部ビジュアルデザイン研究室の三木佑里子さんの作品。

## 第3章 生活視点と川西市のまちづくり

### 1 行政主体の計画から協働の計画へ

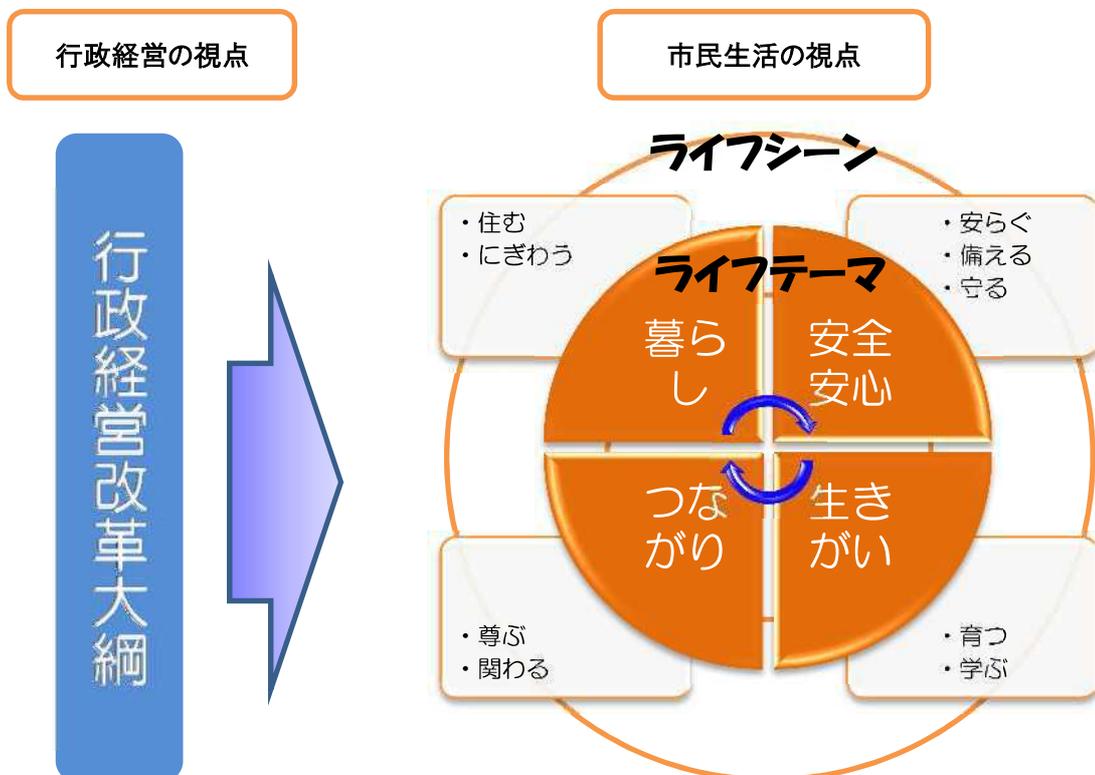
時代は移り変わり、成熟した地域社会を迎えた本市においては、豊かな生活や情報を背景として、市民の考え方やニーズが多様化・高度化するとともに、暮らしの課題も地域によってこれまで以上に異なるようになってきました。そのため、これまでのような行政主導のまちづくりから、市民一人ひとりの暮らしの質の向上を、まちづくりの様々な主体とともに図っていくことが求められます。

第5次川西市総合計画は、市民生活の視点に立ち、時代の潮流や地域課題によりきめ細かく対応するための「市民総参画型・協働型総合計画」として、まちづくりを進めていきます。

計画づくりにおいては、行政主体の計画から協働の計画へとするため、第4次川西市総合計画の「行政の分野の切り口（視点）」を「市民生活の切り口（視点）」に置き換え、子育て世代や高齢世代などそれぞれの生活の段階に応じたライフテーマ\*（生活におけるテーマ）とライフシーン\*（生活における場面）を設定しています。また、ライフシーン＝「政策」としてまちづくりの目標を掲げ、その目標に向けて、市民・行政などの取り組みのあり方を定めます。

また、市民生活はあらゆる生活場面が密接に関連しているため、ライフテーマ・ライフシーン相互のつながりを意識し、市民生活の実態に即した計画をめざします。

#### ■ 第5次川西市総合計画体系構成の視点のイメージ図



※行政経営改革大綱の詳細については、P40 参照

\* ライフテーマ：人生の中において、欠かすことのできない生活のテーマを「暮らし」「安全安心」「生きがい」「つながり」の4つの視点で整理している。

\* ライフシーン：ライフテーマのもとで生じる様々な生活の場面をいい、「住む」をはじめとする9つの視点で整理し、具体的な政策と結びつけて体系づけているもの。

## 2 参画と協働の地域社会の実現に向けて

従来、まちづくりは行政の仕事であって、すべてを行政に任せておけばいいという意識が市民・行政双方にあり、「公共サービス」＝「行政サービス」、そして、それは「官」が供給するものという構図が形成され、定着してきました。

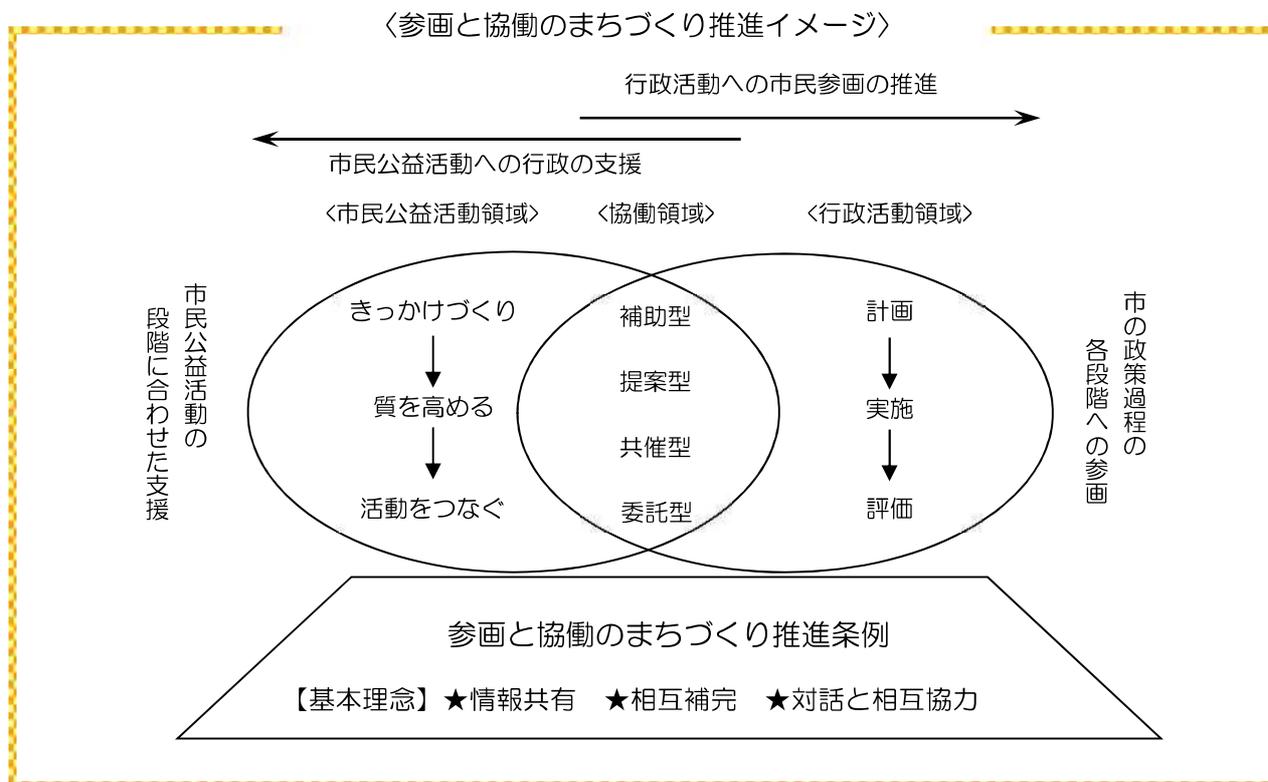
しかしながら、地方分権の進展や人口減少、本格的な少子・高齢社会の到来、また、人々の価値観が多様化する中で、これまでは行政が主体になって行ってきた領域であっても、市民をはじめ、自治会やコミュニティ、ボランティア、NPOなどが主体になって、あるいは行政と連携して取り組むことで、より効果的で効率的な市民満足度の高いサービスの提供が可能になると考えられます。

そのため、地域社会のめざすべき方向や果たすべき役割について共通認識を持ち、適切な役割分担のもとで、それぞれの持つ能力を最大限に発揮しながら個性的で魅力あふれるまちをめざし、参画\*と協働\*のまちづくりを進めていく必要があります。

このようなまちづくりを具現化するため、本市では、平成22年6月に参画と協働のまちづくりを推進するための共通ルールである「川西市参画と協働のまちづくり推進条例」を制定し、同年10月1日に施行しました。

また、第5次川西市総合計画と並行して、同条例に基づく基本計画を策定し、参画と協働のまちづくりを着実に進めていきます。

第3章



\* 参画：市の政策などの立案、実施及び評価の過程に主体的に関わって意見や提言を行うこと。

\* 協働：市民、自治会、コミュニティ、地区福祉委員会、ボランティア、NPO、事業者や市など様々なまちづくりの主体が、それぞれの役割に基づき、お互いの立場を尊重し、地域の課題解決に向けて相互に補完し合うこと。

## 施策体系

市民生活の視点	政策	施策	頁
1 暮らし	1 住む	1 良好な都市環境を整備します	54
		2 道路や橋りょうの安全性・機能性を高めます	56
		3 交通安全の施設整備と啓発を行い、交通事故を減らします	58
		4 公園を利用しやすくします	60
		5 安全で安定した上下水道の環境整備を推進し、健全な事業経営に努めます	62
		6 市街地の整備を進めます	64
		7 中央北地区のまちづくりを進めます	66
		8 総合的な交通環境の向上を図ります	68
		9 公営住宅を適正・効率的に管理します	70
		10 ふるさと団地の再生を推進します	72
	2 にぎわう	11 商工業を振興します	74
		12 中心市街地の活性化を推進します	76
		13 農業を振興します	78
		14 就労支援の充実と勤労者福祉の向上を図ります	80
		15 観光資源を発掘・開発・PRし、知名度を高めます	82
		16 文化・スポーツを通して、市民が輝く環境づくりを進めます	84

市民生活の視点	政策	施策	頁
2 安全安心	3 安らぐ	17 生活習慣病の予防をはじめ、市民の健康づくりを推進します	88
		18 安心して医療が受けられる環境の整備に努めます	90
		19 市立川西病院において良質な医療を提供するとともに、あり方を検討します	92
		20 地域福祉活動の支援と促進を図ります	94
		21 高齢者に必要なサービスを提供するとともに、要介護状態を予防・改善します	96
		22 高齢者の生きがいづくりや社会参加を促進します	98
		23 障がい者の自立した生活と社会参加を促進します	100
		24 生活保護受給者の経済的自立をはじめ、社会的自立・日常生活自立を支援します	102
	4 備える	25 地域の防災力を高め、災害時に迅速に対応します	104
		26 行政の防災力を高め、災害時に迅速に対応します	106
		27 生活安全の向上を図ります	108
	5 守る	28 豊かな自然環境を次世代へ継承します	110
		29 快適な生活環境を守ります	112
30 循環型社会の形成を促進します		114	

## 施策体系

市民生活の視点	政策	施策	頁
3 生きがい	6 育つ	31 子どもの健やかな育ちを実現します	118
		32 明るく楽しい子育てを支援します	120
		33 すべての子ども・若者の逞(たくま)しい成長を社会全体で支援します	122
	7 学ぶ	34 児童・生徒の学力を向上させます	124
		35 ころ豊かな児童・生徒を育みます	126
		36 誰もが等しく学べるよう支援します	128
		37 児童・生徒の健康を守ります	130
		38 計画的・効果的に教育環境を整備します	132
		39 市民の学びを通して地域社会を支えます	134
		40 ふるさと川西の文化遺産を保存・継承・活用します	136

市民生活の視点	政策	施策	頁
4 つながり	8 尊ぶ	41 お互いを尊重し、豊かな人権文化を築きます	140
		42 性別に関わりなく、個性と能力を十分に発揮できるようにします	142
	9 関わる	43 市民の声を聴き、情報の共有化に努めます	144
		44 市民公益活動の発展に向けた取り組みを支援します	146

行政経営の視点	政策	施策	頁
5 行政経営改革大綱	10 挑む	45 参画と協働のまちづくりを推進します	150
		46 革新し続ける行政経営をめざします	152
		47 持続可能な財政基盤を確立します	156
		48 職員の意欲と能力を高めます	158
		49 長期的展望に立ち、公共施設を整備・保全します	160

<b>政策1</b>	<b>住む</b>	
<b>施策1</b>	良好な都市環境を整備します	
<b>総括部等</b>	都市整備部	<b>関連部等</b> —

## 現状と課題

- 社会経済構造の急激な変化により、都市経営コストの効率化や持続可能な都市構造への転換が求められています。
  - 都市の成長・拡大を前提とした従来のまちづくりから、既存の都市基盤を活かした暮らしやすいまちづくりをめざしていく必要があります。
- 良好な都市景観形成を「川西市都市景観形成条例」により推進してきましたが、市民への愛着や誇りを育み、定住人口の増加を図るという観点から、景観行政が果たすべき役割は、ますます重要になっています。
  - これまで進めてきた総括に立って、さらに川西らしい魅力的な景観づくりを誘導していく必要があります。
- 「地籍調査」は、一筆ごとの土地境界を確定する調査で、土地に関する基礎データとなります。
  - 公共事業及び土地取引の円滑化や災害時の復旧などに役立てるため、着実に調査を推進していく必要があります。
- 開発行為に対しては、川西市開発行為等指導要綱・都市計画法等関係法令の事務や、違反に対する是正指導の適正化に努めています。また、市内には、開発による大規模な盛土造成地\*が存在します。
  - 開発行為に対する市民ニーズの多様化や環境面での意識の変化に柔軟に対応し、無秩序な市街化を防ぐ必要があります。また、大規模盛土造成地の調査を行い、安全で安心な市街地形成を図る必要があります。
- 民間住宅の耐震化率は、補助事業や市民啓発を実施した結果、一定の成果はあげられましたが「川西市耐震改修促進計画」における目標値との乖離（かいり）があります。
  - 市民の耐震化に対する認識が低いことや改修工事に係る費用が高額であることから、今後の耐震化の推進方策について検討する必要があります。

## 主な施策展開

### ○都市の健全な発展と秩序ある整備

社会の潮流や本市全体の暮らしやすさを加味しながら、都市計画の視点から誘導するとともに、関連知識の普及や情報提供に努め、都市の健全な発展と秩序ある整備や意識の共有化を図ります。

### ○魅力ある都市景観の創造

市民が愛着と誇りを持てる景観の実現に向けて、「川西市都市景観形成条例」に基づく規制・誘導を行い、魅力的な都市景観の形成を進めるとともに、条例の適正な運用について検証します。

### ○地籍調査事業の推進

地籍調査事業の推進に向けて、毎年度新規調査地区を設定するなど、計画的かつ効率的に事業を実施するとともに、公共事業及び土地取引の円滑化や災害時の復旧等に役立てていきます。

### ○社会情勢等の変化を踏まえた開発行為への適正な対応

都市計画法等関係法令に基づき、地域の状況や社会経済情勢の変化も踏まえた対応を図り、事務の適正化・迅速化を進めます。また、地震時に滑動崩落の危険がある大規模盛土造成地に係る調査を実施します。

\*盛土造成地：低い地盤や傾斜地に土砂を盛り上げて高くした土地。

○建築物耐震化の促進

耐震化率の向上に向けて補助事業の継続と市民啓発の強化を行います。また、啓発については、広報誌・ホームページへの掲載や関係団体との連携による市民フォーラムの開催を継続的に実施します。

役割

市民	<ul style="list-style-type: none"> <li>○美化緑化活動など身近な景観の向上に向けての取り組みを主体的に行うなど、地域の景観を創り・育て・守ります。</li> <li>○地域の身近な景観に関心を持ちます。</li> <li>○大規模盛土造成地の抽出事業等に対して、理解と協力をします。</li> <li>○住宅の耐震化を進めるなど安全、安心な市民生活確保への取り組みを行います。</li> </ul>
市民公益活動団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市民の主体的なまちづくり活動に協力し、市民と連携の輪を広げます。</li> <li>○自らもまちづくり活動を企画・実施し、次代の担い手を発掘します。</li> <li>○地域の景観を創り・育て・守るため、景観啓発に努めます。</li> <li>○身近な景観が向上する取り組みに協力します。</li> <li>○地籍調査事業の内容を理解し、事業に協力します。</li> <li>○市民に対する支援・助言を行います。</li> <li>○自治会、NPO法人に市民啓発活動への協力をお願いします。</li> </ul>
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>○公共的な視点で都市の健全な発展に協力します。</li> <li>○地域の景観を創り・育て・守るため、社会貢献に努めます。</li> <li>○魅力的な都市景観形成に協力します。</li> <li>○景観事業などの趣旨や内容を理解し、事業に協力します。</li> <li>○開発事業などを行う際には、都市計画法等関係法令を遵守しつつ、地域の状況や社会情勢の変化に適正に対処します。</li> <li>○建設関係団体へ適正な施工を指導します。</li> </ul>

施策評価指標

名称	方向性	基準値(H23)	目標値(H29)
「居住地域に住み続けたい」と思う市民の割合	↗	68.1%(H24)	80.0%
	市民実感調査より		
民間住宅の耐震化率	↗	81.0%	97.0%
	市内民間住宅のうち耐震性を有する住宅の割合		
川西市の景観に関心がある市民の割合	↗	80.2%(H24)	85.0%
	市民実感調査より		

関連する個別計画

- ◆ 川西市都市計画マスタープラン

# 平成25年度決算成果報告書

## ～ Ⅱ.行政サービス成果篇 ～





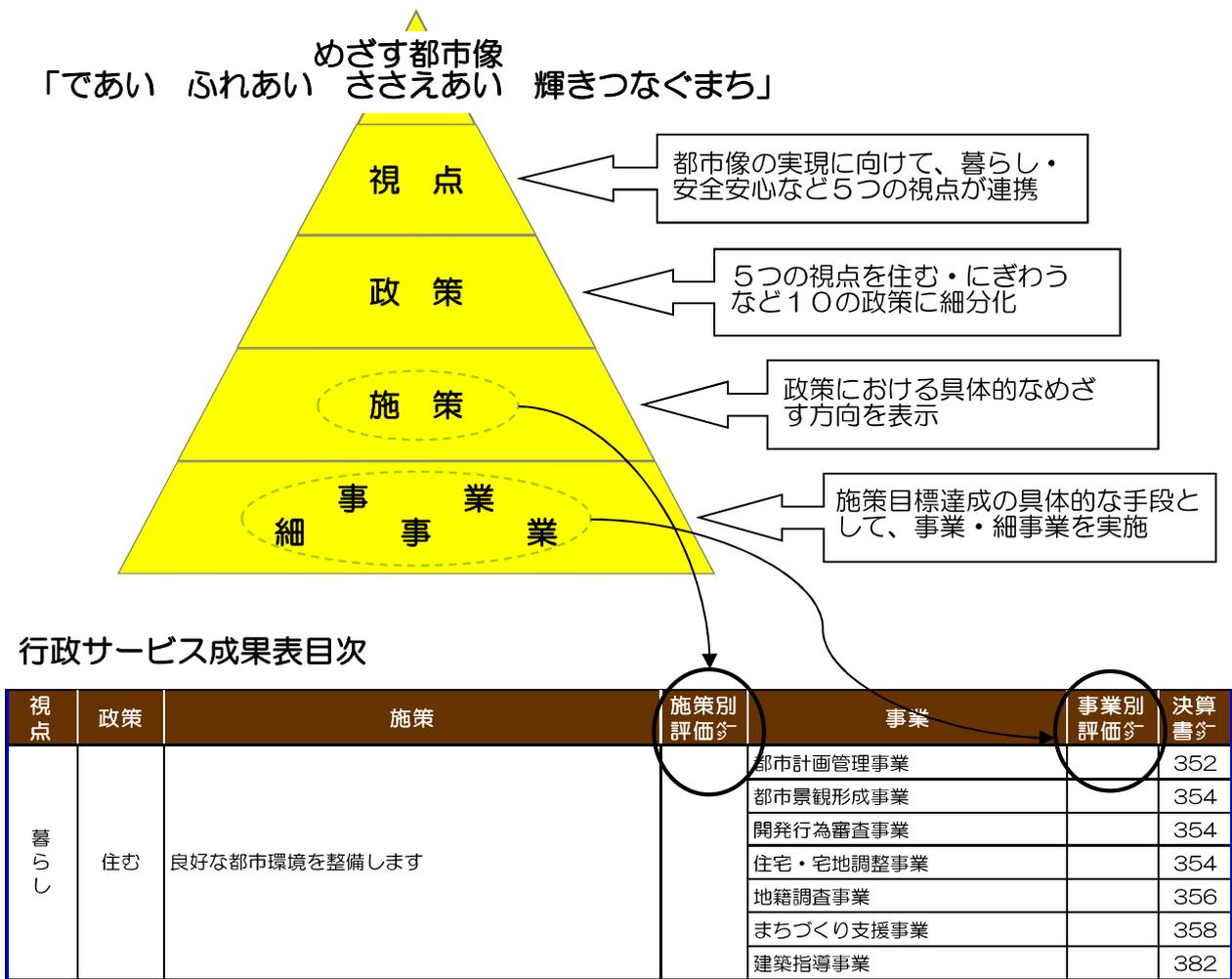


1, 行政サービス成果編の見方について	・・・	1
2, 施策体系別所属別総コスト一覧表	・・・	5
3, 施策体系別評価指標一覧表	・・・	7
4, 行政サービス成果表		
成果表目次	・・・	11
(1) 暮らし	・・・	16
(2) 安全安心	・・・	140
(3) 生きがい	・・・	300
(4) つながり	・・・	452
(5) 行政経営改革大綱	・・・	492
(6) その他	・・・	530



# 1. 行政サービス成果編の見方について

○第5次川西市総合計画「かわにし 幸せ ものがたり」の前期基本計画政策構造



※ 事業のうち、行政内部の管理関係事業については、掲載していないものがあります。

## ○各施策別、事業別行政サービス成果表での職員人件費・公債費の計上について

職員人件費は平均人件費×職員数で算出し、計上しています。

※一般会計における平均人件費：職員8,852千円、再任用職員3,896千円。  
平均人件費には、職員共済組合負担金と退職手当組合負担金も含んでいます。

公債費は、元金及び利子を各事業に分類し、計上しています。

## ○施策別行政サービス成果表の施策評価について

第5次総合計画前期基本計画における施策の達成度を可視化するものとして、各施策に「施策評価指標」を設定し、指標を設定した際の基準値（平成23年度又は平成24年度値）及び各年度の実績値、前期基本計画の最終年度である平成29年度を目標年度とした目標値を表示しています。

目標値及び実績値の推移はグラフで示すとともに、各評価指標を担当する部長が「実績値の傾向分析と目標値達成の見通し」について、関連する事業の成果をはじめ社会情勢の変化などを踏まえながらコメントしています。

これにより、前期基本計画を施策の達成度から評価し、市民目線に立った施策と事業の見直しに繋がっていきます。

施策1 「良好な都市環境を整備します」

評価指標を設定  
指標値の分析

【施策評価指標】

評価指標	基準値	実績値				目標値	トレンド
		H25	H26	H27	H28		
1 「居住地域に住み続けたい」と思う市民の割合	指標値 (%)	68.1	77.7			80.0	<p>「居住地域に住み続けたい」と思う市民の割合</p>
	定義/方向性	市民実感調査より/増やす					
	実績値の傾向分析と目標値達成の見通し (記載者 担当部長)	実績値の傾向は・・・ 達成状況は・・・					
	所管	都市整備部 都市計画課					

## ○事業別行政サービス成果表の「参画と協働の主な手法」について

平成25年度に各事業で実施した参画と協働の取組について14の手法に分類し、主な手法を3つまで列挙しています。どの手法にもあてはまらない取組がある場合は、その他に分類し、取組の名称を挙げています。

### <手法の分類>

- 01.意見提出手続（パブリックコメント）、02.審議会等の付属機関、03.住民説明会の開催  
04.アンケート、05.意見・提案の募集、06.講座・講習会、07.フォーラム・シンポジウム  
08.ワークショップ、09.市政モニター、10.共催、実行委員会  
11.ボランティア・NPO等との連携、12.補助、助成、報償、13.委託、14.指定管理

## ○事業別行政サービス成果表の事業の自己評価、今後の方向性について

この評価の目的は、評価過程において、事業の課題を掘り起こし、明らかにすることで、次年度以降の業務改善に繋げようとするものです。

自己評価は、各事業を所管する部長が、次の4つの視点を全て考慮して、次年度以降に向けた改善の有無に着目して、三段階で評価しています。

### <評価の視点>

- ・妥当性 …… 市民ニーズや施策目的に対して妥当か。また、行政が担う必要があるか。
- ・効率性 …… より少ないコスト（ヒト、物、金、時間）で成果を達成できたか。
- ・有効性 …… 目的達成に向けて、十分な成果はあったか。
- ・参画と協働 …… 参画と協働の取組ができているか、取組の充実や改善ができないか。

### <評価の段階>

- ・適正 …… 「4つの視点」全てにおいて適正である。
- ・改善の余地あり …… 改善することで、事業の効果を上げることができる。
- ・改善すべき …… 大幅な改善によって、事業の効果を上げることができる。

## 2. 施策体系別所属別総コスト一覧表

視点	政策	施策	総合政策部	公共施設 再配置推進室	総務部	市民生活部
1 暮らし	1 住む	1 良好な都市環境を整備します				
		2 道路や橋りょうの安全性・機能性を高めます				
		3 交通安全の施設整備と啓発を行い、交通事故を減らします				
		4 公園を利用しやすくします				
		5 安全で安定した上下水道の環境整備を促進し、健全な事業経営に努めます	1,128,442千円			
		6 市街地の整備を進めます				
		7 中央北地区のまちづくりを進めます				
		8 総合的な交通環境の向上を図ります				
		9 公営住宅を適正・効率的に管理します				
		10 ふるさと団地の再生を推進します	18,205千円			
2 にぎわう	2 にぎわう	11 商工業を振興します				131,343千円
		12 中心市街地の活性化を推進します		38,229千円		16,385千円
		13 農業を振興します				69,856千円
		14 就労支援の充実と勤労者福祉の向上を図ります				55,499千円
		15 観光資源を発掘・開発・PRし、知名度を高めます				56,781千円
		16 文化・スポーツを通して、市民が輝く環境づくりを進めます				633,521千円
2 安全安心	3 安らぐ	17 生活習慣病の予防をはじめ、市民の健康づくりを推進します				
		18 安心して医療が受けられる環境の整備に努めます				
		19 市立川西病院において良質な医療を提供するとともに、あり方を検討します	2,912,051千円			
		20 地域福祉活動の支援と促進を図ります				
		21 高齢者に必要なサービスを提供するとともに、要介護状態を予防・改善します				
		22 高齢者の生きがいづくりや社会参加を促進します				
		23 障がい者の自立した生活と社会参加を促進します				
		24 生活保護受給者の経済的自立をはじめ、社会生活自立・日常生活自立を支援します				
4 備える	4 備える	25 地域の防災力を高め、災害時に迅速に対応します			1,325千円	
		26 行政の防災力を高め、災害時に迅速に対応します			145,289千円	
		27 生活安全の向上を図ります			26千円	45,354千円

健康福祉部	こども家庭部	都市整備部	中央北整備部	美化環境部	教育振興部	消防本部	会計課・行政委員会等	事業費合計
		245,917千円						245,917千円
		1,932,001千円						1,932,001千円
		249,005千円						249,005千円
		487,312千円						487,312千円
								1,128,442千円
		104,355千円						104,355千円
			1,531,276千円					1,531,276千円
		52,350千円						52,350千円
		676,688千円						676,688千円
								18,205千円
								131,343千円
								54,614千円
								69,856千円
								55,499千円
		31,900千円						88,681千円
								633,521千円
906,715千円								906,715千円
3,334,902千円								3,334,902千円
								2,912,051千円
313,073千円								313,073千円
1,816,968千円								1,816,968千円
239,802千円								239,802千円
2,719,568千円								2,719,568千円
3,546,014千円								3,546,014千円
						193,551千円		194,876千円
130千円		28,342千円				1,457,159千円		1,630,920千円
								45,380千円

## 2. 施策体系別所属別総コスト一覧表

視点	政策	施策	総合政策部	公共施設 再配置推進室	総務部	市民生活部	
2 安全 安心	5 守る	28 豊かな自然環境を次世代へ継承します				314千円	
		29 快適な生活環境を守ります					
		30 循環型社会の形成を促進します					
生き がい	6 育つ	31 子どもの健やかな育ちを実現します					
		32 明るく楽しい子育てを支援します				15,001千円	
		33 すべての子ども・若者の逞(たくま)しい成長を社会全体で支援します					
	7 学ぶ	34 児童・生徒の学力を向上させます					
		35 こころ豊かな児童・生徒を育みます					
		36 誰もが等しく学べるよう支援します					
		37 児童・生徒の健康を守ります					
		38 計画的・効果的に教育環境を整備します		17,866千円			
		39 市民の学びを通して地域社会を支えます					
		40 ふるさと川西の文化遺産を保存・継承・活用します					
つな がり	8 尊ぶ	41 お互いを尊重し、豊かな人権文化を築きます				136,273千円	
		42 性別に関わりなく、個性と能力を十分に発揮できるようにします					
	9 関わる	43 市民の声を聴き、情報の共有化に努めます	81,507千円		20,034千円	37,825千円	
		44 市民公益活動の発展に向けた取り組みを支援します	91,119千円				
5 行政 経営 改革 大綱	10 挑む	45 参画と協働のまちづくりを推進します	50,389千円				
		46 革新し続ける行政経営をめざします	124,188千円				
		47 持続可能な財政基盤を確立します	2,254,815千円		1,113,598千円		
		48 職員の意欲と能力を高めます			370,173千円		
		49 長期的展望に立ち、公共施設を整備・保全します		592,169千円	378,687千円		
その他			34,727千円		797,337千円	222,784千円	
合計			6,695,443千円	648,264千円	2,826,469千円	1,420,622千円	

健康福祉部	こども家庭部	都市整備部	中央北整備部	美化環境部	教育振興部	消防本部	会計課・行政委員会等	事業費合計
		120,010千円		48,402千円				168,726千円
		35,895千円		396,952千円				432,847千円
		11,899千円		3,247,478千円				3,259,377千円
	3,011,601千円				32,630千円			3,044,231千円
522,095千円	3,215,972千円							3,753,068千円
	38,406千円				758千円			39,164千円
					192,734千円			192,734千円
					164,291千円			164,291千円
					441,351千円			441,351千円
					554,510千円			554,510千円
					2,973,033千円			2,990,899千円
					632,114千円			632,114千円
					144,012千円			144,012千円
								136,273千円
	91,311千円							91,311千円
								139,366千円
								91,119千円
								50,389千円
								124,188千円
							55,898千円	3,424,311千円
								370,173千円
		101,022千円						1,071,878千円
40,642千円		102,919千円		48,876千円	1,648,947千円	88,108千円	702,705千円	3,687,045千円
13,439,909千円	6,357,290千円	4,011,811千円	1,531,276千円	48,876千円	6,784,380千円	1,738,818千円	758,603千円	50,122,711千円

### 3. 施策体系別評価指標一覧表

視点	政策	施策	評価指標
1 暮らし	1 住む	1 良好な都市環境を整備します	「居住地域に住み続けたい」と思う市民の割合
			民間住宅の耐震化率
			川西市の景観に関心がある市民の割合
		2 道路や橋りょうの安全性・機能性を高めます	「生活道路が安心して通行できる」と思う市民の割合
			「幹線道路で円滑な交通が確保されている」と思う市民の割合
		3 交通安全の施設整備と啓発を行い、交通事故を減らします	違法駐車等防止重点区域における瞬間駐車台数
		4 公園を利用しやすくします	公園を満足して利用している市民の割合
		5 安全で安定した上下水道の環境整備を促進し、健全な事業経営に努めます	「川西の水が安心して飲める」と思う市民の割合
			水洗化の普及率
			浄水場から配水した水量に対する、水道料金に結び付いた水量の割合
	6 市街地の整備を進めます	—	
	7 中央北地区のまちづくりを進めます	地区内公共施設整備率	
		地区内宅地率	
	8 総合的な交通環境の向上を図ります	ノンステップバス導入率	
		主に鉄道やバスなどの公共交通機関を利用している市民の割合	
	9 公営住宅を適正・効率的に管理します	公営住宅の管理戸数	
	10 ふるさと団地の再生を推進します	ふるさと団地への流入人口	
		ふるさと団地の生産人口比率	
	2 にぎわう	11 商工業を振興します	主に市内で買い物をする市民の割合
			市内総生産額
小売業店舗数			
工業事業所数			
12 中心市街地の活性化を推進します		鉄道の1日の乗降客数	
		休日の歩行者通行量	
13 農業を振興します		直売所来場者数	
		特産物栽培面積	
		農作物作付面積	
14 就労支援の充実と勤労者福祉の向上を図ります		自分の仕事にやりがいを感じている市民の割合	
	川西しごと・サポートセンターの年間就職件数		
15 観光資源を発掘・開発・PRし、知名度を高めます	姉妹都市である香取市の名前を聞いたことがある市民の割合		
	観光客入込数		
16 文化・スポーツを通して、市民が輝く環境づくりを進めます	過去1年間に継続してスポーツをした市民の割合		
	文化会館・みつなかホールで実施される自主事業の集客率		

視点	政策	施策	評価指標
2 安全安心	3 安らぐ	17 生活習慣病の予防をはじめ、市民の健康づくりを推進します	健康づくりに意識的に取り組んでいる市民の割合
			定期的に歯の検診を受けている市民の割合
			「食事をすることが楽しい」と思う市民の割合
			むし歯のない3歳児の割合
		18 安心して医療が受けられる環境の整備に努めます	市内の医療環境に満足している市民の割合
			かかりつけ医を持っている市民の割合
		19 市立川西病院において良質な医療を提供するとともに、あり方を検討します	患者満足度
			経常収支比率
			病床利用率
			職員給与費医療収益比率
			資金不足比率
		20 地域福祉活動の支援と促進を図ります	「地域で高齢者や障がい者・児童等を見守り、支援する仕組みができてい」と思う市民の割合
	福祉ボランティア活動に参加したことがある市民の割合		
	21 高齢者に必要なサービスを提供するとともに、要介護状態を予防・改善します	高齢者に占める要介護(支援)認定者の割合	
		認定者に占める居宅介護(支援)サービス受給者の割合	
		認知症サポーターの人数	
	22 高齢者の生きがいづくりや社会参加を促進します	「高齢者が生きがいを持って生活できる」と思う市民の割合	
		シルバー人材センターの入会率	
		老人クラブの入会率	
	23 障がい者の自立した生活と社会参加を促進します	福祉施設入所者の地域生活移行者数(延べ人数)	
		障がい者福祉施設からの一般就労者数	
	24 生活保護受給者の経済的自立をはじめ、社会生活自立・日常生活自立を支援します	就労支援により就労した人数	
		自立による生活保護世帯廃止件数	
	4 備える	25 地域の防災力を高め、災害時に迅速に対応します	地震や火災などの災害に対する備えができてい市民の割合
「災害に強いまちだ」と思う市民の割合			
26 行政の防災力を高め、災害時に迅速に対応します		火災現場への平均到着所要時間	
		救急現場への平均到着所要時間	
		犯罪発生件数	
27 生活安全の向上を図ります		「消費者トラブルに遭わない心構えができてい」と思う市民の割合	
		消費生活相談の解決率	

### 3. 施策体系別評価指標一覧表

視点	政策	施策	評価指標	
2 安全安心	5 守る	28 豊かな自然環境を次世代へ継承します	環境に配慮した行動を心がけている市民の割合	
			「緑が豊かなまちだ」と思う市民の割合	
		29 快適な生活環境を守ります	自動車排出ガス(二酸化窒素)濃度	
			猪名川水系における水質測定値(BOD値)	
			Lden(時間帯補正等価騒音レベル)	
		30 循環型社会の形成を促進します	「歩道や道路がきれいだ」と思う市民の割合	
	ごみ収集・処分に対する満足度			
	一人一日あたりのごみ排出量			
	一人一日あたりの可燃ごみ排出量			
			ごみのリサイクル率	
	3 生きがい	6 育つ	31 子どもの健やかな育ちを実現します	「子育てがしやすいまちだ」と思う市民の割合
				保育所の入所待機児童数
合計特殊出生率				
32 明るく楽しい子育てを支援します			「子育て支援が充実している」と思う市民の割合	
			乳幼児健康診査受診率	
			妊娠から出産及び産後の保健・医療サービスについて満足している母親の割合	
			児童扶養手当受給資格者に対する全部支給の割合	
33 すべての子ども・若者の逞(たくま)しい成長を社会全体で支援します			充実感を持って生きている若者の割合	
			名前(ニックネーム含む)を知っている近所の子どもの数	
		成人式典への参加率		
7 学ぶ		34 児童・生徒の学力を向上させます	「学習内容を理解している」と思う児童の割合(小学生)	
			「学習内容を理解している」と思う生徒の割合(中学生)	
			児童・生徒にICT活用を指導できる教員の割合	
			個別の教育支援計画作成の進捗度	
		35 ころ豊かな児童・生徒を育みます	「子どもの安全・安心を守る取り組みが行われている」と思う保護者の割合	
			「学校に行くことが楽しい」と思う子どもの割合(小学生)	
			「学校に行くことが楽しい」と思う子どもの割合(中学生)	
			「トライやる・ウィークの一週間が充実していた」と思う生徒の割合	
			「小学校体験活動が充実していた」と思う児童の割合	
		36 誰もが等しく学べるよう支援します	経済的理由による長期欠席児童生徒数の全児童生徒数に占める割合	
			就学指導に係る園児・児童・生徒の保護者が「就学先に満足している」と思う割合	
	37 児童・生徒の健康を守ります	健康診断結果をもとに治療勧告し、病院受診した割合		
小学校給食の残食率				
38 計画的・効果的に教育環境を整備します	学校・園施設の耐震化率			
	小・中学校のトイレ洋式化率			

視点	政策	施策	評価指標			
3 生きがい	7 学ぶ	39 市民の学びを通して地域社会を支えます	過去1年間に継続して生涯学習に取り組んだ市民の割合 「生涯学習の条件が整備されている」と思う市民の割合 公民館講座満足度 生涯学習短期大学講座満足度			
		40 ふるさと川西の文化遺産を保存・継承・活用します	川西の歴史・文化財に興味がある市民の割合			
4 つながり	8 尊ぶ	41 お互いを尊重し、豊かな人権文化を築きます	一人ひとりの人権が尊重されていると感じている市民の割合 小中学生のオンブズパーソン認知率 隣保館来館者数 姉妹都市であるポーリング・グリーン市の名前を聞いたことがある市民の割合			
			42 性別に関わりなく、個性と能力を十分に発揮できるようにします	性別による固定的役割分担を否定する市民の割合 審議会等への女性委員の登用率 男女共同参画センター登録活動団体数		
				9 関わる	43 市民の声を聴き、情報の共有化に努めます	必要な市の情報が入手できていると感じている市民の割合 市民の意見や考えなどが市に届いていると感じている市民の割合
						44 市民公益活動の発展に向けた取り組みを支援します
	5 行政経営改革大綱	1 挑む	45 参画と協働のまちづくりを推進します	「参画と協働」という言葉を知っている市民の割合 「参画と協働」の取り組みをおこなったことがある市民の割合 仕事を進めるうえで、「参画と協働」を意識している職員の割合		
				46 革新し続ける行政経営をめざします	前期基本計画の施策評価指標達成率 市役所窓口サービスの満足度 職員満足度 行財政改革目標効果額の進捗率 人口1万人あたり職員数 ふるさとづくり寄附金の受入件数 社会増減数(転出入)に占める生産人口割合	
					47 持続可能な財政基盤を確立します	実質赤字比率 連結実質赤字比率 実質公債費比率 将来負担比率 経常収支比率
		48 職員の意欲と能力を高めます	仕事にやりがいを感じている職員の割合 「職場で部下や後輩の育成が行われている」と思う職員の割合			
49 長期的展望に立ち、公共施設を整備・保全します			—			

## 4. 行政サービス成果表目次

視点	政策	施策	施策別 評価額	事業	事業別 評価額	決算 書額
暮らし	住む	良好な都市環境を整備します	17	都市計画管理事業	35	352
				都市景観形成事業	37	354
				開発行為審査事業	39	354
				住宅・宅地調整事業	41	354
				地籍調査事業	43	356
				まちづくり支援事業	45	358
				建築指導事業	47	382
		道路や橋りょうの安全性・機能性を高めます	18	歩道整備事業	49	336
				道路管理事業	51	338
				道路・水路維持補修事業	53	342
				私道舗装助成事業	55	346
				側溝新設事業	57	346
				道路改良事業	59	346
				橋りょう維持補修事業	61	350
		交通安全の施設整備と啓発を行い、交通事故を減らします	19	交通安全施設整備事業	65	332
					違法駐車等対策事業	67
	放置自転車対策事業				69	332
	交通安全啓発事業				71	334
	公園を利用しやすくします	20	公園改良事業	73	366	
			公園維持管理事業	75	366	
	安全で安定した上下水道の環境整備を促進し、健全な事業経営に努めます	21	下水道事業会計負担金及び補助金	77	364	
	市街地の整備を進めます	22	再開発総務管理事業	79	362	
			土地区画整理事業	81	362	
			空港周辺地域整備事業	83	370	
	中央北地区のまちづくりを進めます	23	中央北地区推進事業	85	354	
			中央北地区整備事業	87	356	
	総合的な交通環境の向上を図ります	24	公共交通支援事業	89	328	
	公営住宅を適正・効率的に管理します	25	住宅供給促進事業	91	374	
			市営住宅維持管理事業	93	378	
	ふるさと団地の再生を推進します	26	ふるさと団地再生事業	95	112	
	にぎわう	商工業を振興します	27	商工振興事業	97	314
				中小企業支援事業	99	314
中心市街地の活性化を推進します		29	中心市街地活性化推進事業	101	316	
			川西都市開発株式会社経営支援事業	103	316	
農業を振興します		30	農業振興事業	105	310	
			農業用施設改良事業	107	312	
			農業用施設等災害復旧事業	109	474	
就労支援の充実と勤労者福祉の向上を図ります		31	就労支援事業	111	302	
			労働者支援事業	113	302	
観光資源を発掘・開発・PRし、知名度を高めます		32	国内交流事業	115	142	
			観光推進事業	117	322	
			イベント支援事業	119	324	
			猪名川花火大会事業	121	324	
			知明湖キャンプ場管理運営事業	123	324	
			知明湖活用推進事業	125	328	
ダリヤ育成事業	127	328				

視点	政策	施策	施策別 評価	事業	事業別 評価	決算 書
暮らし	にぎわう	文化・スポーツを通して、市民が輝く環境づくりを進めます	33	文化振興事業	129	140
				芸術文化施設維持管理事業	131	142
				生涯スポーツ推進事業	133	158
				競技スポーツ推進事業	135	160
				スポーツ施設管理運営事業	137	160
安全 安心	安らぐ	生活習慣病の予防をはじめ、市民の健康づくりを推進します	141	健康づくり推進事業	159	256
				保健対策事業	161	258
				予防事業	163	262
				健康診査事業	165	264
				特定健康診査実施事業	167	266
				特定保健指導実施事業	169	266
				後期高齢者健康診査実施事業	171	268
				歯科保健推進事業	173	272
		安心して医療が受けられる環境の整備に努めます	143	後期高齢者健康診査助成事業	175	226
				保健センター維持管理事業	177	266
				応急診療所運営事業	179	270
				救急医療対策事業	181	270
		市立川西病院において良質な医療を提供するとともに、あり方を検討します	144	病院事業会計支援事業	185	276
				病院事業経営改革推進事業	187	276
		地域福祉活動の支援と促進を図ります	146	民生児童委員活動事業	189	198
				地域福祉計画推進事業	191	198
				地域福祉活動支援事業	193	200
				災害援護資金管理事業	195	202
				中国残留邦人支援事業	197	202
		高齢者に必要なサービスを提供するとともに、要介護状態を予防・改善します	147	外国人等高齢者特別給付金支給事業	199	202
				老人医療扶助事業	201	220
				在宅高齢者支援事業	203	228
				施設入所援護事業	205	230
				老人福祉施設支援事業	207	232
		高齢者の生きがいづくりや社会参加を促進します	148	介護保険低所得者対策事業	209	232
				高齢者生きがいづくり推進事業	211	230
		障がい者の自立した生活と社会参加を促進します	149	外国人等障害者特別給付金支給事業	213	202
				障害者総合支援事業	215	216
				障害者地域生活支援事業	217	218
				障害者医療扶助事業	219	220
		生活保護受給者の経済的自立をはじめ、社会生活自立・日常生活自立を支援します	150	生活支援事業	221	252
				住宅手当支給事業	223	254
		備える	地域の防災力を高め、災害時に迅速に対応します	151	自主防災組織支援事業	225
火災予防事業	227				390	
消防団活動推進事業	229				394	
消防団施設整備事業	231				398	
行政の防災力を高め、災害時に迅速に対応します	152		国民保護事業	233	154	
			災害救助事業	235	254	
			急傾斜地対策事業	237	340	
			消防活動事業	239	388	
			救急活動事業	241	388	
			消防施設維持管理事業	243	390	
			消防施設整備事業	245	398	
			水防事業	247	400	
			災害対策事業	249	402	
			道路等災害復旧事業	251	476	

視点	政策	施策	施策別 評価額	事業	事業別 評価額	決算 書額
安全安心	備える	生活安全の向上を図ります	153	生活安全事業	253	154
				消費生活相談事業	255	318
				消費者啓発事業	257	318
				計量・表示適正化推進事業	259	320
	守る	豊かな自然環境を次世代へ継承します	154	環境創造事業	261	286
				林業振興事業	263	310
				緑化推進事業	265	328
				街路樹維持管理事業	267	342
				緑地維持管理事業	269	368
		快適な生活環境を守ります	155	環境衛生推進事業	271	278
				犬の登録事業	273	280
				斎場管理運営事業	275	282
				環境監視事業	277	286
				市民トイレ管理事業	279	294
				し尿収集事業	281	300
				阪神高速道路周辺環境監視事業	283	360
				騒音環境対策事業	285	370
		循環型社会の形成を促進します	156	共同利用施設管理運営事業	287	372
ごみ減量化とリサイクル推進事業	289			292		
広域ごみ処理施設管理運営事業	291			292		
最終処分対策事業	293			294		
分別収集事業	295			296		
生きがい	育つ	子どもの健やかな育ちを実現します	301	子ども・子育て支援事業計画策定・管理事業	315	236
				留守家庭児童育成クラブ事業	317	240
				留守家庭児童育成クラブ施設整備事業	319	242
				保育所運営事業	321	246
				保育所維持管理事業	323	248
				地域保育園支援事業	325	248
				保育所整備事業	327	250
				認定こども園支援事業	329	250
				認定こども園整備事業	331	250
				幼稚園備品整備事業	333	442
				幼児健康管理事業	335	444
				幼稚園施設維持管理事業	337	454
				明るく楽しい子育てを支援します	302	児童館運営事業
	乳幼児等医療扶助事業	341	222			
	母子等医療扶助事業	343	222			
	子育て支援事業	345	238			
	児童手当等支給事業	347	240			
	ひとり親家庭支援事業	349	240			
	すべての子ども・若者の逞（たくま）しい成長を社会全体で支援します	304	母子保健推進事業	351	258	
			青少年支援事業	353	244	
学ぶ	児童・生徒の学力を向上させます	305	成人式典実施事業	355	458	
			教育情報推進事業	357	412	
			学校教育支援事業	359	414	
			教育研究事業	361	416	
			小学校教科書・副読本整備事業	363	426	
			小学校教育情報推進事業	365	426	
			中学校教科書・副読本整備事業	367	436	
			中学校教育情報推進事業	369	438	
特別支援学校教育情報推進事業	371	448				

視点	政策	施策	施策別 評価額	事業	事業別 評価額	決算 書額
生きがい	学ぶ	こころ豊かな児童・生徒を育みます	307	教育広報発行事業	373	408
				学校・地域連携推進事業	375	418
				青少年育成事業	377	420
				学校人権教育推進事業	379	420
				生徒指導支援事業	381	422
				適応教室運営事業	383	422
				小学校体験活動事業	385	426
				小学校教育支援事業	387	428
				中学校教育支援事業	389	436
				丹波少年自然の家運営事業	391	462
				子ども議会実施事業	393	462
		誰もが等しく学べるよう支援します	309	学校教育振興団体補助事業	395	412
				就学支援事業	397	414
				学校教育管理事業	399	416
				相談事業	401	418
				特別支援学校教育支援事業	403	446
		児童・生徒の健康を守ります	310	小学校給食運営事業	405	430
				児童健康管理事業	407	432
				中学校ミルク給食運営事業	409	438
				生徒健康管理事業	411	440
				特別支援学校給食運営事業	413	450
				児童・生徒健康管理事業	415	452
		計画的・効果的に教育環境を整備します	311	小学校備品整備事業	417	426
				小学校図書整備事業	419	426
				中学校備品整備事業	421	434
				中学校図書整備事業	423	436
				特別支援学校備品整備事業	425	446
小学校施設維持管理事業	427			454		
中学校施設維持管理事業	429			454		
特別支援学校施設維持管理事業	431			454		
教育施設耐震化事業	433			456		
学校施設耐震化・大規模改造PFI推進事業	435			456		
市民の学びを通して地域社会を支えます	312	生涯学習推進事業	437	458		
		生涯学習センター事業	439	460		
		公民館運営事業	441	468		
		公民館維持管理事業	443	470		
		図書館運営事業	445	472		
		図書館施設維持管理事業	447	474		
ふるさと川西の文化遺産を保存・継承・活用します	314	文化財事業	449	464		
つながり	尊ぶ	お互いを尊重し、豊かな人権文化を築きます	453	国際化推進事業	459	144
				人権啓発推進事業	461	206
				市民平和推進事業	463	208
				子どもの人権オンブズパーソン事業	465	208
				人権教育推進団体等支援事業	467	208
				隣保館運営事業	469	212
				総合センター維持管理事業	471	214
				性別に関わりなく、個性と能力を十分に発揮できるようにします	455	男女共同参画推進事業
	男女共同参画センター運営事業	475	148			
	関わる	市民の声を聴き、情報の共有化に努めます	456	情報公開事業	477	116
				広報事業	479	120
広聴事業				481	150	
市民相談事業				483	150	

視点	政策	施策	施策別 評価額	事業	事業別 評価額	決算 書額
つながり	関わる	市民公益活動の発展に向けた取り組みを支援します	457	コミュニティ推進事業	485	148
				自治会支援事業	487	150
				市民活動推進事業	489	150
行政経営改革大綱	挑む	参画と協働のまちづくりを推進します	493	参画と協働のまちづくり推進事業	501	112
		革新し続ける行政経営をめざします	494	総合計画策定・管理事業	503	108
				政策企画・立案事業	505	108
				行政経営推進事業	507	110
				魅力創造事業	509	114
		持続可能な財政基盤を確立します	496	徴収及び収納事業	511	172
				滞納対策事業	513	174
		職員の意欲と能力を高めます	498	情報化事業	515	116
				職員研修事業	517	136
		長期的展望に立ち、公共施設を整備・保全します	499	公共施設再配置推進事業	519	130
				中央北地区内複合施設整備事業	521	132
				多機能型市民サービスセンター整備事業	523	132
				市民体育館建替事業	525	162
施設設計監理事業	527			374		
その他 (内部管理事業等)	市議会事務局又は行政委員会事務局の事務	—	市議会運営	531	98	
			選挙啓発事業	533	184	
	市長部局等の事務	—	住民基本台帳及び印鑑登録事業	535	178	
			戸籍事業	537	180	
			住居表示事業	539	180	
			国民年金事業	541	224	
	教育委員会事務局の事務	—	小学校運営事業	543	424	
			中学校運営事業	545	434	
			幼稚園運営事業	547	442	
			特別支援学校運営事業	549	446	

暮らし

# 施策別 行政サービス成果表

視点	01 暮らし						
政策	01 住む						
施策	01 良好な都市環境を整備します						
コスト 合計		245,917千円					245,917千円

## 【事業・コスト一覧】

事業名	25年度				合計	所管	
	事業費	職員人件費	公債費				
都市計画管理事業	9,941千円	17,704千円	0千円		27,645千円	都市整備部	都市計画課
都市景観形成事業	3,650千円	8,852千円	0千円		12,502千円	都市整備部	都市計画課
開発行為審査事業	3,289千円	26,556千円	0千円		29,845千円	都市整備部	まちづくり指導室
住宅・宅地調整事業	122千円	17,704千円	0千円		17,826千円	都市整備部	まちづくり指導室
地籍調査事業	10,901千円	17,704千円	0千円		28,605千円	都市整備部	都市計画課
まちづくり支援事業	3,911千円	17,704千円	0千円		21,615千円	都市整備部	都市計画課
建築指導事業	19,359千円	88,520千円	0千円		107,879千円	都市整備部	まちづくり指導室

## 【施策評価指標】

評価指標	基準値	実績値					目標値	トレンド
		H25	H26	H27	H28	H29		
1 「居住地域に住み続けたい」と思う市民の割合	指標値 (%)	68.1	77.7				80.0	<p>「居住地域に住み続けたい」と思う市民の割合</p>
	定義/方向性	市民実感調査より/増やす						
	実績値の傾向分析と目標値達成の見通し (記載者担当部長)	自分たちが暮らす“ふるさと川西”への愛着の高さがわかる。これまで展開してきた市民・事業者・行政による協働のまちづくりを今後も継続していく。						
	所管	都市整備部 都市計画課						

評価指標	基準値	実績値					目標値	トレンド
		H25	H26	H27	H28	H29		
2 民間住宅の耐震化率	指標値 (%)	81.0	81.0				97.0	<p>民間住宅の耐震化率</p>
	定義/方向性	市内民間住宅のうち耐震性を有する住宅の割合/上げる						
	実績値の傾向分析と目標値達成の見通し (記載者担当部長)	安全・安心まちづくりの実現に向け、民間住宅の耐震改修促進事業を実施し、耐震に対する市民意識の高揚に努めた。耐震化率は、18年度の75%と比較して緩やかであるが上昇している。今後も意識啓発などにより、耐震化を促進する。						
	所管	都市整備部 まちづくり指導室						

評価指標	基準値	実績値					目標値	トレンド
		H25	H26	H27	H28	H29		
3 川西市の景観に関心がある市民の割合	指標値 (%)	80.2	87.1				85.0	<p>川西市の景観に関心がある市民の割合</p>
	定義/方向性	市民実感調査より/増やす						
	実績値の傾向分析と目標値達成の見通し (記載者担当部長)	市民の景観に対する関心の高さがわかる。平成26年度に景観計画を策定し、都市景観形成条例の改正をする予定であり、このことにより、これまで市民と共に培ってきた景観を育み、誇りの持てる景観へ発展させる取組をより一層推進していく。						
	所管	都市整備部 都市計画課						

# 施策別 行政サービス成果表

視点	01 暮らし						
政策	01 住む						
施策	02 道路や橋りょうの安全性・機能性を高めます						
コスト合計		1,932,001千円					1,932,001千円

## 【事業・コスト一覧】

事業名	25年度				所管
	事業費	職人件費	公債費	合計	
歩道整備事業	4,500千円	8,852千円	0千円	13,352千円	都市整備部 道路整備課
道路管理事業	38,765千円	60,904千円	0千円	99,669千円	都市整備部 道路管理課
道路・水路維持補修事業	252,051千円	61,964千円	1,239,371千円	1,553,386千円	都市整備部 道路管理課
私道舗装助成事業	1,533千円	0千円	0千円	1,533千円	都市整備部 道路管理課
側溝新設事業	34,223千円	8,852千円	0千円	43,075千円	都市整備部 道路整備課
道路改良事業	59,564千円	21,600千円	0千円	81,164千円	都市整備部 道路整備課
橋りょう維持補修事業	3,294千円	8,852千円	13,696千円	25,842千円	都市整備部 道路管理課
新名神周辺対策事業	78,572千円	35,408千円	0千円	113,980千円	都市整備部 道路整備課

## 【施策評価指標】

評価指標	基準値	実績値					目標値	トレンド
		H25	H26	H27	H28	H29		
1 「生活道路が安心して通行できる」と思う市民の割合	指標値 (%)	61.	6 .1				71.2	<p>「生活道路が安心して通行できる」と思う市民の割合</p>
	定義/方向性	市民実感調査より/高める						
	実績値の傾向分析と目標値達成の見通し (記載者 担当部長)	安心して通行できている市民を増やしていけるように努めていく。						
	所管	都市整備部 道路管理課						

評価指標	基準値	実績値					目標値	トレンド
		H25	H26	H27	H28	H29		
2 「幹線道路で円滑な交通が確保されている」と思う市民の割合	指標値 (%)	65.3	69.2				67.5	<p>「幹線道路で円滑な交通が確保されている」と思う市民の割合</p>
	定義/方向性	市民実感調査より/増やす						
	実績値の傾向分析と目標値達成の見通し (記載者 担当部長)	今後も安心して通行できると感じている市民を増やしていけるよう努めていく。						
	所管	都市整備部 道路整備課						

# 施策別 行政サービス成果表

視点	01 暮らし		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	01 住む	コスト 合計	249,005千円					249,005千円
施策	03 交通安全の施設整備と啓発を行い、交通事故を減らします							

## 【事業・コスト一覧】

事業名	25年度				所管
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
交通安全施設整備事業	152,577千円	26,556千円	256千円	179,389千円	都市整備部 道路管理課
違法駐車等対策事業	826千円	0千円	0千円	826千円	都市整備部 道路管理課
放置自転車対策事業	51,147千円	8,852千円	0千円	59,999千円	都市整備部 道路管理課
交通安全啓発事業	8,791千円	0千円	0千円	8,791千円	都市整備部 道路管理課

## 【施策評価指標】

評価指標	基準値	実績値					目標値	トレンド
		H25	H26	H27	H28	H29		
1 違法駐車等防止重点区域における瞬間駐車台数	指標値 (台)	31.3	28.2				28.0	<p>違法駐車等防止重点区域における瞬間駐車台数</p> <p>0台 35台 30台 25台 20台</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 H29</p>
	定義/方向性	瞬間駐車台数調査より減らす						
	実績値の傾向分析と目標値達成の見通し (記載者 担当部長)	瞬間駐車台数は減少傾向にあり、目標値は達成できるものと考えている。						
	所管	都市整備部 道路管理課						

# 施策別 行政サービス成果表

視点	01 暮らし
政策	01 住む
施策	0 公園を利用しやすくします

	H25	H26	H27	H28	H29	合計
コスト合計	487,312千円					487,312千円

## 【事業・コスト一覧】

事業名	25年度				所管
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
公園改良事業	277,606千円	8,852千円	0千円	286,458千円	都市整備部 公園緑地課
公園維持管理事業	150,662千円	30,452千円	19,740千円	200,854千円	都市整備部 公園緑地課

## 【施策評価指標】

評価指標	基準値	実績値					目標値	トレンド
		H25	H26	H27	H28	H29		
1 公園を満足して利用している市民の割合	指標値 (%)	16.0	17.7				21.0	<p>公園を満足して利用している市民の割合</p>
	定義/方向性	市民実感調査より/増やす						
	実績値の傾向分析と目標値達成の見通し (記載者 担当部長)	<p>現在、川西市内の公園は287箇所あり、そのうち、公園緑地課が管理している公園は 282箇所である。遊具を含む公園施設の老朽化が進み、安全確保が重要な課題となっている。川西市公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の点検及び遊具の修繕・撤去・更新を進めていく。</p> <p>日常の維持管理については、地域の自主性を活かし、平成22年度より、一部の公園において維持管理(除草、低木剪定)を地域自治会に委託している。</p>						
	所管	都市整備部 公園緑地課						

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	都市計画管理事業		決算書頁	352
視点・政策	01 暮らし・01 住む			
施策	01 良好な都市環境を整備します			
所管部・課	都市整備部 都市計画課	作成者	課長 橋本 隆司	

## 2. 事業の目的

将来のまちづくりを進めるため、秩序ある都市計画区域の整備を図る

## 3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	25年度	24年度	比較	財源	25年度	24年度	比較	
総事業費	27,645	27,131	514	一般財源	26,493	26,017	476	
内訳	事業費	9,941	5,429	4,512	国県支出金	662	662	0
	職員人件費	17,704	21,702	△ 3,998	地方債			0
	公債費			0	特定財源(都市計画税)			0
参考	職員数(人)	2	2	0	特定財源(その他)	490	452	38
	再任用職員数(人)		1	△ 1				

## 4. 事業目的達成のための手段と成果

(単位:千円)

〈細事業1〉	都市計画管理事業	細事業事業費	9,941
(1)対象者(建設事業の場合は施設名及び所在地)	市全域		
(2)対象者数(建設事業の場合は面積・延長等)	53.44km <sup>2</sup>		
(3)参画と協働の主な手法(実績)その他(案の縦覧、意見書の提出)	アンケート		
(4)25年度の取組と成果			

### 1. 都市計画管理事業の内容

都市計画法に基づき都市計画の決定や変更を適切な判断のもと実施するとともに、市民・事業者等に対しては、土地利用規制遵守のための情報提供や知識普及を行うなど、都市計画業務を適切に遂行する。そのほか、都市計画審議会の運営、都市計画に関する諸事務・調査の円滑かつ効果的な処理などを行う。



けやき坂地区 地区計画(変更)の都市計画決定

阪神間都市計画(川西市)					
面積(ヘクタール)					
行政区全域		5,344			
市街化区域		市街化調整区域		備考	
区分	市街化区域		市街化調整区域		平成21年4月28日 兵庫県告示 第548号
	面積(ヘクタール)	%	面積(ヘクタール)	%	
川西市	2,303	43	3,041	57	
用途地域					
区分	面積(ヘクタール)		備考		
第一種低層住居専用地域	約 1,188		平成24年11月30日 川西市告示 第231号		
第二種低層住居専用地域	約 11				
第一種中高層住居専用地域	約 225				
第二種中高層住居専用地域	約 243				
第一種住居地域	約 190				
第二種住居地域	約 186				
準住居地域	約 11				
近隣商業地域	約 87				
商業地域	約 17				
準工業地域	約 102				
工業地域	約 43				
合計	約 2,303				

川西市の都市計画決定の概要

2. 地区計画の都市計画決定

市内24地区で地区計画を決定している。平成25年度は、けやき坂地区 地区計画の変更の都市計画決定を行った。



けやき坂地区 地区計画

	21	22	23	24	25
地区計画の決定数(累計)	23	29	30	32	33

※変更を含む

3. 都市計画審議会関連業務

都市計画審議会は、都市計画法第77条の2第1項の規定に基づき、本市が定める都市計画に関することや、本市が提出する都市計画に関する事項について調査審議させるため設置している。

平成25年度は、都市計画審議会を2回開催し、生産緑地地区、地区計画等の都市計画の変更の審議をし、市街化区域及び市街化調整区域の区域区分(線引き)の見直しの予定について説明した。

4. 新名神高速道路(仮称)川西インターチェンジ周辺地区の土地利用に関するアンケートの実施

新名神高速道路(仮称)川西インターチェンジ周辺地区の土地利用計画の策定にあたり、無作為抽出の市民約3,000人を対象に郵送によるアンケートを実施した。アンケートは回答者の立場に立ち、見やすい地図を使用し、地区周辺のイメージを膨らませながら回答できる内容とした。

5. 担当部長による自己評価、及び今後の方向性、見通し等

<p>25年度の事業全体の成果や課題について</p> <p>当該年度の都市計画決定案件は少なかったが、次年度以降に都市計画決定等を行う必要がある案件が多く、今年度はそのための調査実施の年度であった。まさに新名神高速道路インターチェンジ周辺土地利用計画に関するアンケートはその一つである。</p> <p>平成26年度は、インターチェンジ供用開始に向けて、土地利用を早期に策定する必要がある。</p>	<p>第5次総合計画実現に向け、26年度以降における具体的な改善点や見通しについて</p> <p>今後、第5次総合計画、都市計画マスタープランの上位計画に沿った新名神高速道路インターチェンジ周辺土地利用計画を策定し、快適で安心して暮らせるより良いまちづくりを進める。</p>
<p>自己評価</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 適正</p> <p><input type="checkbox"/> 改善の余地あり</p> <p><input type="checkbox"/> 改善すべき</p>	<p>今後の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 拡充</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 継続</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小</p>

評価は、「妥当性」・「効率性」・「有効性」、及び「参画と協働」の視点を全て考慮したうえで判断しています。

# 事業別行政サービス成果表

## 1. 事業名等

事業名	都市景観形成事業		決算書頁	354
視点・政策	01 暮らし・01 住む			
施策	01 良好な都市環境を整備します			
所管部・課	都市整備部 都市計画課	作成者	課長 橋本 隆司	

## 2. 事業の目的

市民の目線に立った景観施策を展開するとともに、美しい街並みを保全・育成するため建築物の景観誘導等を行う

## 3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト	25年度	24年度	比較	財源	25年度	24年度	比較
総事業費	12,502	9,102	3,400	一般財源	12,502	9,102	3,400
内 事業費	3,650	80	3,570	国県支出金			0
内 職員人件費	8,852	9,022	△ 170	地方債			0
内 公債費			0	特定財源(都市計画税)			0
参考 職員数(人)	1	1	0	特定財源(その他)			0
再任用職員数(人)			0				

## 4. 事業目的達成のための手段と成果

(単位:千円)

〈細事業1〉	都市景観形成事業	細事業事業費	3,650
(1)対象者(建設事業の場合は施設名及び所在地)	市全域		
(2)対象者数(建設事業の場合は面積・延長等)	53.44km <sup>2</sup>		
(3)参画と協働の主な手法(実績)	その他(ふるさと川西景観展)	アンケート	フォーラム・シンポジウム

### (4)25年度の取組と成果

#### 1. 都市景観形成事業の内容

- 魅力ある都市景観の形成、景観阻害の防止、市民が愛着を持って暮らせるまちづくりをめざして、大規模建築物等を建築する者に対して、川西市都市景観形成条例に基づく指導や助言を行っている。
- 市民の目線に立った景観施策を展開するため、「ホッとする」「身近な」「お気に入り」と思う場所や建物の写真や資料などを展示するとともに、ホームページにも掲載するなど、広く市民に景観に関する情報を発信している。



第3回ふるさと川西景観展(川西市役所1階市民ギャラリー)



ふるさと川西生活景観ポストカード作成

2. 川西市景観計画の策定に向けて市民アンケートの実施

川西市景観計画の策定に向けて、無作為抽出の市民約3,000人を対象に郵送によるアンケートを実施した。アンケートは回答者の立場に立ち、見やすい図・写真を使用し、本市の景観のイメージを膨らませながら回答できる内容とした。

3. 都市景観形成条例の届出状況

川西市都市景観形成条例に基づく届出等について、指導や助言を行った。

(単位:件)

項目	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
景観条例届出件数	17	22	24	24	26



ふるさと川西生活景

4. ふるさと川西景観展の開催

生活景はがき絵、「懐かしの景観」や「能勢電鉄沿線の景観」の写真などを展示することで、市民の景観意識を啓発し、景観資源への認識を高めた。

5. 生活景はがき絵展示

市民の景観への感性や印象を絵画に託して、他の市民と共有し、次世代へと守り伝えていくため、平成24年度に募集した生活景観のはがき絵を景観展で展示した。



景観フォーラムの開催

6. 景観フォーラムの開催

「わがまちの景観形成をどうするのか」をテーマとして、並木道、住宅地の庭や生垣・植栽などの身近な生活景や、くらしの中の身近な不安などに着目して、自分たちが暮らすまちの景観を自らの手でじっくり守り育てていく景観まちづくりに取り組めるよう、基調講演のほか、講師二人による意見交換などを行った。

5. 担当部長による自己評価、及び今後の方向性、見通し等

<p>25年度の事業全体の成果や課題について</p> <p>ふるさと川西景観展も、25年度で3回目を迎えるとともに、「わがまちの景観形成をどうするのか」をテーマに景観フォーラムを開催した。</p> <p>さらに、景観法に基づく景観計画の策定のために今年度はアンケート調査を実施した。</p> <p>今後、景観計画の策定と条例改正に向けて本事業を着実に進める必要がある。</p>	<p>第5次総合計画実現に向け、26年度以降における具体的な改善点や見通しについて</p> <p>平成26年度中に、本市における魅力的な景観形成をより一層推進するため、上位計画に沿った景観計画を策定するとともに、都市景観形成条例を改正し、市民の目線に立った景観施策を展開していく。</p>
<p>自己評価</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 適正</p> <p><input type="checkbox"/> 改善の余地あり</p> <p><input type="checkbox"/> 改善すべき</p>	<p>今後の方向性</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 拡充</p> <p><input type="checkbox"/> 継続</p> <p><input type="checkbox"/> 縮小</p>

評価は、「妥当性」・「効率性」・「有効性」、及び「参画と協働」の視点を全て考慮したうえで判断しています。

**1. 川西市の重点方針**

第5次総合計画のめざす都市像である「であい ふれあい ささああい 輝きつなぐまち」を実現するため、第5次総合計画前期基本計画に掲げる次の5点に重点を置いて施策展開を図ります。

- ①元気な都市再生プロジェクト
- ②豊かな水と緑共生プロジェクト
- ③こころ豊かなこども育成プロジェクト
- ④いきいき健康・長寿プロジェクト
- ⑤川西の魅力発見・発信プロジェクト

**2. 総合政策部のサービス対象者**

**広報室のサービス対象者**  
(市民)  
分かりやすい情報提供を要求。発信される情報への依存型。広報にすべての情報を要求する。企画段階からのより深い情報提供を期待。  
(職員)  
自らが情報提供するとき(対プレス)に的確なアドバイスを期待。

**行政経営室・財政室のサービス対象者**  
(納税者)  
納税意識が高まり、意思決定の段階から参画を要求。  
(職員)  
権限移譲などにより、各所属が自ら意思決定を行う。将来にわたって安定的な行政運営を期待。

**参画協働室のサービス対象者**  
(市民)  
地域分権制度の運用にあたって、市からの適切なサポートを期待。  
(職員)  
市民等との参画協働の具現化に向けた的確なアドバイスを期待。

**3. 総合政策部を取り巻く経営環境**

- ・ひと・モノ・金など経営資源の縮小
- ・循環型社会形成や里山保全など環境問題への関心の高まり
- ・情報技術のスピードアップ
- ・情報媒体の多様化
- ・少子・高齢化に伴うサービスの変化
- ・地方分権の推進に伴う地方財政フレームの変更
- ・市民参画の要請
- ・行政に対する市民の関心の高まり
- ・公共施設の老朽化への対応
- ・職員の高齢化に伴う人事体制の構築・技術伝承
- ・大災害等への対応
- ・都市間競争への対応
- ・市の魅力の市内外へのアピール
- ・市制施行60周年とポスト周年のまちづくり

**4. 総合政策部がめざす姿**

★市長の方針を具現化するために、自ら企画立案を行うとともに、全庁的な調整機能を発揮し、結果として本市の行政運営がスムーズになされている。

- ①将来にわたって安定的な行政運営を行っている。
- ②市政運営の状況が市民に理解され、多くの市民が積極的にまちづくりに参画している。
- ③現場の事情を的確に把握したうえで意思決定を行い、全職員から信頼される組織として機能している。

**5. 総合政策部の現状**

(1)重要成功要因	(2)経営上の強み	(3)経営上の課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>①政策形成を縦割りではなく、組織横断的に行う。</li> <li>②政策形成プロセスの透明化を図る。</li> <li>③市民力・地域力を活用する。</li> <li>④職員自らが課題認識を行ったうえで、企画・立案できる環境を整える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トップダウン型ではなく、全員参加型、ボトムアップ型の意思決定を行っている。</li> <li>・部長が課長補佐以下の職員と定期的に個別ミーティングを行い、職務推進上の課題などについて、共有化と解決に向けた指導が行われている。</li> <li>・部長メールを配信し、部長の仕事観や人生観を伝えることにより、職員のモラルやモチベーションを高めている。</li> <li>・業務改善の提案をメールで受け付けるなど、職員の自由な発想を受け入れる組織風土がある。</li> <li>・一人1目標を設定し、職員が目的意識を持って仕事を進めるよう促している。</li> <li>・市民実感調査、財政状況、決算成果を公表している。</li> <li>・事業ディスカッションを行っている。</li> <li>・主要プロジェクトについては、市長をヘッドとする推進本部をはじめ、プロジェクトチームなどを設置している。</li> <li>・各所属長において職員の研修ニーズを把握し、参加を担保するよう努めている。</li> <li>・地域別懇談会など様々な機会を通じて、地縁・志縁団体等との良好な人間関係を築いている。</li> </ul>	<p>①市民の満足に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・より多くの新しい、特に若者の市民参画を促す必要がある。</li> <li>・市民に対するきめ細かな情報提供について、さらに工夫する必要がある。</li> <li>・地域分権の主体である地域組織と、さらに円滑な関係を構築する必要がある。</li> <li>・市民意識の醸成に向けた的確な情報発信が必要である。</li> </ul> <p>②組織体質の改善に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「自分の適性や能力に現在の仕事に向いていない」「仕事に精神的不安を感じている」職員の割合が全庁より高い。</li> <li>・部の実行計画等について、職員一人ひとりが認識しているとは言えない。</li> <li>・参画と協働の取り組みについて、意識して仕事を進めている職員の割合が低い。(全庁ベース)</li> </ul>

**6. 総合政策部の重点目標**

(1)市民満足の向上に向けて

- ★事業ディスカッションなど、公募を行う予定の事務事業について、若者男女や地域バランスが取れた委員を選出する。
- ★地域住民等との協議を進め、より良い地域分権制度を構築する。
- ★市民に分かりやすく、タイムリーな情報を提供し、事業の評価やホームページ閲覧者のアクセス件数を把握する。
- ★本市の魅力積極的に市内外に発信する。
- ★財政の健全化を図る。

(2)組織体質の改善に向けて

- ★職員相互が褒め合える組織文化を醸成する。
- ★組織の方針と業務の連携を徹底する。
- ★現場目線で考える集団を作る。
- ★要請された業務を的確にこなし、自己実現に結び付けることができる職員を養成する。
- ★業務の仕分け、効率化など仕事の的確なマネジメントを行い、労働時間の適正化、職場環境の改善を図る。
- ★職員の倫理観を育む取り組みを進める。
- ★経営品質向上プログラムを的確に運用し、継続的に市役所改革を進める。

**7. 総合政策部の目標**

指 標	H24実績	H25目標	H26目標	H27目標	H28目標	H29目標
① 施策評価指標	「居住地域に住み続けたい」と思う市民の割合 定住志向の強いまちをめざすため	68.1%	70.5%			80.0%
	必要な市の情報が入手できると感じている市民の割合 情報の伝達度を分析するため	64.8%	65.0%			66.5%
	前期基本計画の施策評価達成率 計画を的確に進行管理するため	—	20.0%			100.0%
	市民の意見や考えなどが市に届いていると感じている市民の割合 円滑なコミュニケーションの度合いを分析するため	18.3%	18.5%			19.0%
	実質赤字比率 財政健全化指標を捕捉するため	—	—			—
	実質公債費比率 財政健全化指標を捕捉するため	11.7%	13.0%			13.5%
	将来負担比率 財政健全化指標を捕捉するため	152.6%	150.0%			150.0%
向② た上 市 指 標 向 満 け 足	ホームページアクセス数 市民と行政の相互の情報伝達を把握するため	4,511,017	4,600,000			5,000,000
	市役所窓口サービスの満足度(10点満点)	8.0	10.0			10.0
組 織 体 質 改 善 に 向 け た 指 標	適性や関心、能力からみて現在の仕事に自分に向いている 職員満足度が全庁より低いため	3.04	3.22			3.22
	過度の精神的不安を感じることなく仕事を進めることができている 職員満足度が全庁より低いため	2.68	2.79			2.79
	休暇が取りやすい 職員満足度が全庁より低いため	1.90	2.83			2.83
	現在の総労働時間は適当である 職員満足度が全庁より低いため	1.90	3.11			3.11
	行政経営品質向上プログラムの認知度(全庁) 未だ認知度が低く、向上させる必要があるため	39.0%	100.0%			100.0%
グジョブカードの提出枚数	12枚	30枚			50枚	

DASH!チーム改善<TK>活動 平成25年度テーマ 一覧

部	所属課	テーマ
総合政策部	秘書課	迅速な対応のための情報共有の徹底
	広報室	撮影技術の向上でPR力をアップ↑
	経営改革課	ニュースレターを活用したフリートークキング
	魅力創造課	幸福沿線川西市ふるさとへの思いをつなげよう
	地域分権推進課	課題解決の道具として情報を使いこなす
	市民活動推進課	チラシ・リーフレット作成・発行による自治会加入の促進
	財政室	「経常経費の削減」、および「財政状況に関する情報共有・情報提供の改善」
総務部	総務課	法律を学ぼう！
	職員課	メンタルヘルス対策～職場に笑みを～
	契約課	日常業務の改善に関する議論と迅速な実践
	管財課	防火対象物として本庁舎の防火・防災管理の強化・徹底を図る
	情報推進課	情報システムの標準化の研究
	工事検査室	情報機器の効率的活用(検査通知・結果等の電子配信)
	危機管理室	地域の自主的な防災活動への支援
	市税収納課	効率的な徴収事務の遂行
	債権回収課	課内ミーティングを充実し、課員間の意思疎通を確保する
	市民税課	課税資料収集時期における帳票の整理
	資産税課	情報の共有と自由な意見交換によるチーム力の強化
市民生活部	生活・相談課	相談・苦情等に対して、対応スキルアップを図る。
	市民課	挑戦！目指せパーフェクト
	産業振興課	仕事のマネジメント力向上と有給休暇が取りやすい環境への取り組み
	観光・スポーツ振興課	快適で利用者に喜ばれる芸術文化・スポーツ施設を目指して
	人権推進課	人権啓発教材ライブラリー―覧表の充実を図る ～利用者の立場にたつて～
	総合センター	市民満足度の向上をめざして、心の声を聴かせて！
健康福祉部	福祉政策課	スキルアップ・レベルアップH25 (課内業務の共通理解とプレゼンテーション能力の向上をめざして)
	生活支援課	生活保護制度の適正運営に不可欠な事務執行体制の調査・研究
	障害福祉課	発達障がい者サポートファイルの作成
	医療助成・年金課	課の業務PR
	長寿・介護保険課	窓口アンケートの実施 ～私たちの接遇力はいったいどれくらい？～
	保険収納課	国民健康保険税の収納率を前年度比0.5%(約2千万円)以上の向上
	健康づくり室	新たな健康づくり事業の検討
	国民健康保険課	電話・メールによる同様の問い合わせを減らすには？
こども部	子育て・家庭支援課	①子育て仲間を作り、子育てを支援するスタッフがいるプレイルームをPRする ②ひとり親家庭への支援 ・児童扶養手当受給者を減らす(全部支給→一部支給or全部停止) ・母子相談支援員による就労支援を強化する ・貸付金の未償還額を減らす
	児童保育課	きんたくんネットを活用した情報発信の充実を図る。
	川西保育所	保育課程を見直すことで、川西保育所が「めざす保育」を全職員で共通認識する。
	川西北保育所	地域とつながる ”ここに保育所があることが地域の価値につながるように”
	川西南保育所	子どもおとなも居心地のいい保育所をめざして
	加茂保育所	花と笑顔、あいさつのあふれる加茂地域づくり ～ホッとできる場所づくり～
	緑保育所	参画と協働「ありがとう」でつながろう！～人とひととのつながりの場所～
	小戸保育所	気持ちよくあいさつ、続いてもう一言そえよう！
	多田保育所	職員みんなでつながりあって(所内PTの取り組み)
	川西中央保育所	大人も子どもも気持ちよく過ごせる環境づくり
	こども・若者政策課	青少年ふれあいデーのテーマソング「世界で一番大事な家族へ」を活用し、家族のふれあいを応援！

DASH!チーム改善<TK>活動 平成25年度テーマ 一覧

部	所属課	テーマ
都市整備部	都市・交通政策課	ホームページの充実を図る。
	都市計画課	ホームページの充実による都市計画情報の発信
	営繕課	職員の資源向上
	空港対策課	川西市南部地域整備実施計画策定課内ワーキングチームの設置
	道路整備課	安全で安心な道路整備の推進
	道路管理課	ホームページの充実を図る
	公園緑地課	公園緑地課の事務処理マニュアルを作成する
	まちづくり指導室	情報の共有化のための報・連・相の徹底と、情報データ整理と整理情報の活用の推進を図る
中央北整備部	地区整備課	多様なスタッフ属性の連携による事業推進
美化環境部	美化推進課	「美化推進課はひとつ」～組織の一体感の醸成～
教育振興部	教育総務課	職場ミーティングの継続と情報の共有化
	教職員課	課の業務に係る情報の共有化
	施設課	学校トイレの改善
	学校指導課	各学校での「食に関する指導」 『学校教育活動全体で行う食育の推進』
	学務課	ホームページの活用による情報の発信
	教育情報センター	教職員の資質と実践的指導力の向上支援
	青少年センター	適応教室青少年の家「セオリア」の充実
	社会教育室	ホームページを活用した社会教育情報・文化財情報の発信
	中央図書館	まちづくり情報コーナーの設置及び運営
	中央公民館	市民の参画と協働を推進する公民館講座の充実
生涯学習センター	生涯学習センターの移転・事業拡充	
上下水道局	経営企画課	課内ミーティングでの事務プレゼンテーション
	営業課	ホームページ活用による市民に分かりやすい営業課業務の説明
	給排水設備課	雨水貯留タンクの促進
	水道技術課	危機管理リスクマネジメント 「作業の基本は予習から」「作業は丁寧・慎重に」「報連相」も忘れずに！
	浄水課	引き継ぎ業務の改善を図る
	下水道技術課	経験豊富な技術者からの技術の継承
市立川西病院	経営企画室	楽しい引っ越しビフォーアフター
消防本部	総務課	本部庁舎及び庁舎周囲清掃 (本部庁舎については、日頃清掃することのない箇所とする。)
	予防課	まごころ査察(みんなで防火)
	消防課	普通救命講習の受講者の増員を図る
	南消防署	走行時間の短縮「警防・救急」管内の地理・水利状況(特に狭隘地区への進入経路)の調査及び警防調査
	北消防署	新たな消防広報の実施